

学校法人 兵庫医科大学

2025年度 事業報告書



**EMPOWER
THE PEOPLE**

心に響く医を、私たちがいるかぎり

～建学の精神～

社会の福祉への奉仕

人間への深い愛

人間への幅の広い科学的理解

目 次

I. 法人の概要

1. 沿 革	1
2. 設置する学校・学部・学科等	2
3. キャンパスの所在地	3
4. 役員・評議員・教職員	4
5. 組 織	7
6. 関 連 法 人	10

II. 事業の概要

1. 2025年度事業計画<重点施策>と 達 成 状 況	11
2. 法 人	18
3. 大 学	26
3.1. 西 宮 キ ャ ン パ ス	26
3.2. 神 戸 キ ャ ン パ ス	32
4. 病 院 西 宮 キ ャ ン パ ス	39
5. 篠 山 キ ャ ン パ ス	41
6. 梅 田 キ ャ ン パ ス	43

III. 財務の概要

1. 2025年度の決算概要	44
2. 事業活動収支計算書	46
3. 資金収支計算書	48
4. 貸 借 対 照 表	48
5. 主要な財務比率の推移	50
6. キャッシュ・フローの推移	52
7. 財 産 目 録	53
8. 監 査 報 告 書	54

I 法人の概要

1. 沿革

1971年	11月	学校法人兵庫医科大学寄附行為認可及び兵庫医科大学設置認可
1972年	4月	兵庫医科大学開学(入学定員 医学部 100名)
	4月	兵庫医科大学病院開設
1973年	8月	病院棟(1号館)完成
1974年	4月	中央動物実験棟(7号館)完成
	8月	校舎、講堂(3号館)完成
1978年	3月	兵庫医科大学大学院医学研究科設置認可
1980年	2月	病院・研究棟(8号館)完成
	8月	兵庫医科大学 ドイツ連邦共和国ザールランド大学との学術交流に関する協定を締結
1981年	11月	鳴尾浜総合グラウンド完成
1984年	4月	研究棟(9号館)完成
1994年	3月	兵庫医科大学病院 特定機能病院に指定
1995年	1月	阪神・淡路大震災 被災
1996年	10月	兵庫医科大学病院 災害拠点病院に指定
	11月	兵庫医科大学病院 エイズ拠点病院に指定
1997年	4月	兵庫医科大学先端医学研究所開設
	10月	兵庫医科大学篠山病院開設
	11月	立体駐車場完成
1999年	6月	兵庫医科大学リハビリテーションセンター開設
	9月	兵庫医科大学ささやま老人保健施設開設
	11月	兵庫医科大学 中華人民共和国汕頭大学医学院との学術交流に関する協定を締結
2000年	3月	病院棟(10号館)完成(開学 25周年記念事業)
2001年	4月	兵庫医科大学附属看護専門学校開校
2004年	3月	兵庫医科大学 大学基準協会の相互評価により、大学基準適合の認定
	4月	兵庫医科大学病院 阪神南圏域地域リハビリテーション支援センターに指定
2005年	3月	平成記念会館完成(開学 30周年記念事業)
	12月	兵庫医科大学病院 日本医療機能評価機構より病院機能評価(Ver.4.0)の認定
2006年	3月	兵庫医科大学 中華人民共和国天津医科大学との学術交流に関する協定を締結
	11月	学校法人兵庫医科大学寄附行為変更認可及び兵庫医療大学設置認可
	11月	兵庫医科大学病院 PETセンター開設
2007年	4月	兵庫医療大学開学 (入学定員 薬学部 150名、看護学部 100名、リハビリテーション学部 80名)
	7月	兵庫医科大学 関西学院大学との学術交流に関する包括協定締結
	7月	兵庫医科大学病院 兵庫県エイズ治療中核拠点病院に指定
	10月	兵庫医科大学 クロアチア共和国 Rijeka 大学医学部との学術交流に関する協定を締結
2008年	2月	兵庫医科大学病院 地域がん診療連携拠点病院に指定
	4月	兵庫医科大学病院 肝疾患診療連携拠点病院に指定
	7月	学校法人兵庫医科大学篠山市と兵庫医科大学篠山病院の運営と整備に関する基本協定を締結
2009年	3月	兵庫医科大学附属看護専門学校開校
	4月	兵庫医科大学 入学定員が 110名となる(緊急医師確保対策:2名、骨太の方針 2008:8名増員)
	4月	兵庫医科大学病院 兵庫県認知症疾患医療センターに指定
2010年	6月	兵庫医科大学ささやま医療センター開院(兵庫医科大学篠山病院を改称)
	12月	兵庫医療大学大学院看護学研究科及び医療科学研究科設置認可
2011年	1月	兵庫医科大学病院 日本医療機能評価機構より病院機能評価(Ver.6.0)の認定
	3月	兵庫医科大学 大学基準協会の認証評価により、大学基準適合の認定
2012年	11月	兵庫医療大学大学院薬学研究科設置認可
	11月	学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院設立
	11月	兵庫医科大学 アメリカ合衆国カリフォルニア大学サンディエゴ校と学術交流に関する基本合意書を締結
	12月	兵庫医科大学病院 急性医療総合センター完成(開学 40周年記念事業)
2013年	3月	兵庫医療大学 大学基準協会の認証評価により、大学基準適合の認定
	5月	兵庫医科大学 ブルガリア共和国ソフィア医科大学との学術交流に関する協定を締結
2013年	12月	兵庫医科大学ささやま医療センター 日本医療機能評価機構より病院機能評価(3rdG:Ver.1.0一般病院 1)の認定
2014年	3月	兵庫医療大学 オーストラリア連邦アデレード大学と学術交流に関する基本合意書を締結

	4月	兵庫医科大学 研究医養成枠として2名増員し、入学定員は112名となる
2015年	4月	兵庫医科大学 健康医学クリニック開設
	4月	兵庫医療大学 社会学連携推進機構設置
	4月	兵庫医科大学病院 総合周産期母子医療センターに指定
2016年	1月	兵庫医科大学ささやま居宅サービスセンター開設
	2月	兵庫医科大学病院 日本医療機能評価機構より病院機能評価(3rdG:Ver.1.1)の認定
	3月	学校法人兵庫医科大学 篠山市との土地交換契約を締結
	12月	ドイツ連邦共和国ビュルツブルグ大学医学部と学術交流協定を締結
2017年	11月	教育研究棟 竣工
2018年	2月	兵庫医科大学病院 兵庫県アレルギー疾患医療拠点病院に指定
	3月	兵庫医科大学 大学基準協会の認証評価により大学基準適合の認定
	4月	兵庫医科大学病院 がんゲノム医療連携病院に指定
	6月	学校法人兵庫医科大学 篠山市との病院運営継続の基本協定を締結
2019年	2月	兵庫医科大学ささやま医療センター 日本医療機能評価機構より病院機能評価(3rdG:Ver.2.0 一般病院1及びリハビリテーション病院(副機能))の認定
	4月	兵庫医科大学病院 兵庫県難病診療連携拠点病院に指定
	8月	兵庫医科大学ささやま居宅サービスセンター 厚生労働省より「機能強化型訪問看護ステーション(機能強化型訪問看護管理療養費3)」の認定
	9月	兵庫医科大学病院 がんゲノム医療拠点病院に指定
	11月	兵庫医科大学病院 小児がん連携病院に指定
2020年	4月	兵庫医科大学病院 地域がん診療連携拠点病院(高度型)に指定
	12月	新立体駐車場・デッキ棟完成
2021年	8月	学校法人兵庫医科大学寄附行為変更認可及び兵庫医科大学に薬学部 医療薬学科、看護学部 看護学科、リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科及び大学院 薬学研究科、看護学研究科、医療科学研究科 設置認可
2022年	2月	兵庫医科大学 日本医学教育評価機構により医学教育分野別評価基準 Ver.2.32 の認定
	2月	学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院 閉院
	4月	兵庫医療大学と兵庫医科大学が統合 4学部4研究科を擁する兵庫医科大学が誕生
	4月	学校法人兵庫医科大学 宝塚市との医療等における連携に関する協定書を締結
	8月	兵庫医科大学病院 日本医療機能評価機構より病院機能評価(3rdG:Ver.2.0)の認定
	10月	兵庫医科大学健康医学クリニックを移転し、大阪に兵庫医科大学梅田健康医学クリニックを開設
2023年	4月	兵庫医科大学病院 地域がん診療連携拠点病院に指定
2024年	4月	兵庫医科大学医療科学研究科をリハビリテーション科学研究科へ名称変更
	4月	兵庫医科大学病院 日本医療機能評価機構より病院機能評価(3rdG:Ver.2.0 一般病院3)の認定
	8月	兵庫医科大学大学院大学院看護学研究科博士後期課程及びリハビリテーション科学研究科博士後期課程設置認可
2025年	10月	兵庫医科大学 武庫川女子大学と包括連携協定を締結
		兵庫医科大学 兵庫県立大学と連携協力を推進するための協定を締結
2026年	3月	兵庫医科大学ささやま医療センター等の経営移譲に係る最終合意書の締結
		兵庫医科大学薬学部 神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部との共同研究の推進に関する協定を締結

2. 設置する学校・学部・学科等(2025年5月1日現在)

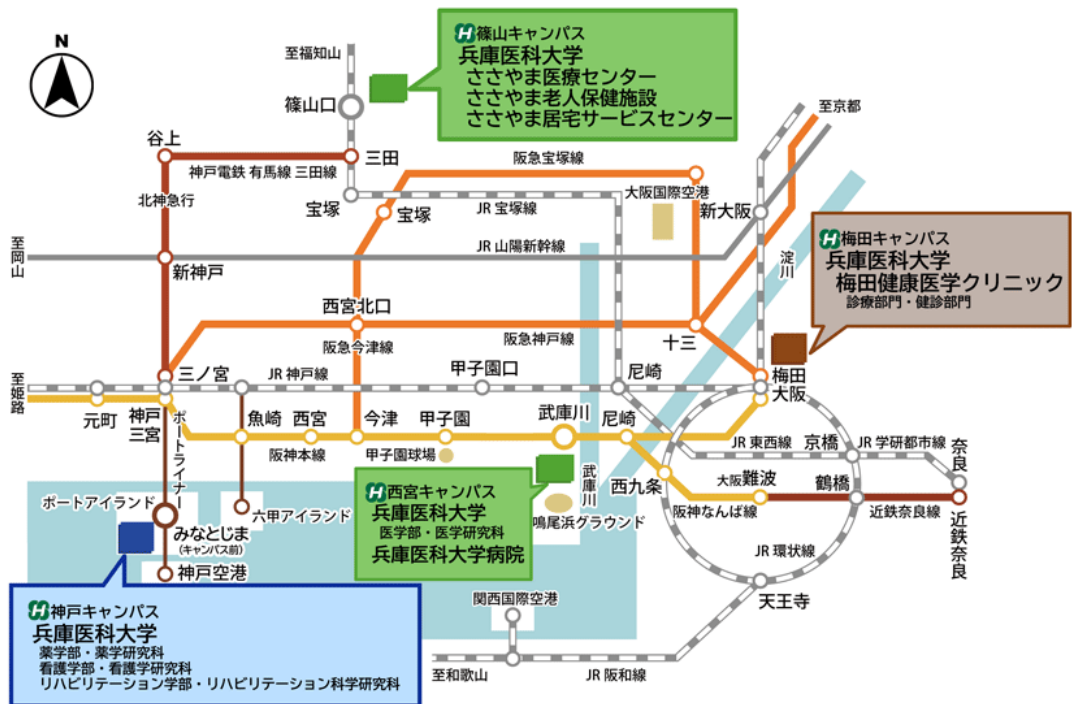
学校名	学部・学科等名	入学定員	2025年度 入学者数	収容定員	現員
兵庫医科大学 (学長:鈴木敬一郎) 1972年4月開学	大学院 医学研究科	60	42	240	184
	大学院 薬学研究科	3	0	12	14
	大学院 看護学研究科 博士前期課程	8	6	16	20
	大学院 看護学研究科 博士後期課程	2	4	2	4
	大学院 リハビリテーション科学研究科	8	9	16	19

	修士課程				
	大学院 リハビリテーション科学研究科 博士後期課程	2	6	2	6
	医学部 医学科	112	112	672	702
	薬学部 医療薬学科	150	115	900	704
	看護学部 看護学科	100	118	400	457
	リハビリテーション学部 理学療法学科	40	46	160	182
	リハビリテーション学部 作業療法学科	40	31	160	150

3. キャンパスの所在地

学校法人兵庫医科大学

- 西宮キャンパス 兵庫県西宮市武庫川町1番1号(〒663-8501)
兵庫医科大学医学部 医学科
大学院 医学研究科
兵庫医科大学病院
- 篠山キャンパス 兵庫県丹波篠山市黒岡5番地(〒669-2321)
兵庫医科大学 ささやま医療センター
兵庫県丹波篠山市黒岡36番地(〒669-2321)
兵庫医科大学 ささやま老人保健施設
兵庫医科大学 ささやま居宅サービスセンター
- 神戸キャンパス 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番地6(〒650-8530)
兵庫医科大学 薬学部 医療薬学科
看護学部 看護学科
リハビリテーション学部 理学療法学科
リハビリテーション学部 作業療法学科
大学院 薬学研究科
大学院 看護学研究科
大学院 リハビリテーション科学研究科
- 梅田キャンパス 大阪府大阪市北区梅田1丁目13番1号
大阪梅田ツインタワーズ・サウス13階(〒530-0001)
兵庫医科大学 梅田健康医学クリニック



4. 役員・評議員・教職員

○ 役員（2026年3月31日現在）

理事【定員 9～10名・現員 10名】

現職	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	担当業務
理事長	太城力良	常勤	2005.6.1	統括 監査
副理事長	野口光一	〃	2009.4.1	教学事業管理 経営企画 危機管理(統括) コンプライアンス 情報 篠山問題
常務理事	松村昭夫	〃	2019.4.1	財務(財務・物流・施設) 経営企画(副) 危機管理(副統括) 総務 篠山問題 関連事業
常務理事 (病院事業管理者)	阪上雅史	〃	2016.4.1	病院事業管理(梅田クリニック含む) 新病院建設・西宮キャンパス整備 広報(統括) 募金・基金 看護師確保対策
兵庫医科大学学長	鈴木敬一郎	〃	2013.4.1	大学運営 ダイバーシティ推進 危機管理(大学)
兵庫医科大学教授・ 兵庫医科大学病院長	池内浩基	〃	2022.4.1	病院運営 医師派遣 危機管理(病院)
ささやま医療センター病院長	藤岡宏幸	〃	2019.4.1	篠山キャンパス運営 危機管理(篠山キャンパス)

常勤理事	佐々木 周一	〃	2023.4.1	人事・職員教育 経営企画(副) (ブランディング・将来構想) 新病院建設・西宮キャンパス整備 (副) 広報(副統括) 社会貢献 営業推進(梅田健康医学クリニック) 看護師確保対策(副)
兵庫県保健医療部長	山下 輝夫	非常勤	2022.6.1	
上ヶ原病院 理事長	大江 与喜子	〃	2022.4.1	

監事【定員 2～3名・現員 3名】

現職	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日
常勤監事	廣田 誠一	常勤	2025.6.12
社会福祉法人恩賜財団済生会支部 神奈川県済生会 顧問	正木 義博	非常勤	2018.12.1
公認会計士	後藤 研了	〃	2021.4.1

- 責任限定契約の締結について
本法人は、私立学校法及び本法人寄附行為 第60条の規定に基づき、非業務執行理事等との間で責任限定契約を締結している。
- 役員賠償責任保険の締結について
本法人は、被保険者の範囲を理事・監事・評議員とする役員賠償責任保険契約を締結している。学校法人や第三者訴訟等により、被保険者が負担することとなる訴訟費用及び損害賠償金等を填補の対象としている。

○ 評議員（2026年3月31日現在）

評議員【定員 9～13名・現員 12名】

氏名	主な現職
田中 稔之	教授・副学長
小山 英則	教授・副学長
中村 高志	事務局長
石藏 礼一	緑樹会(同窓会)会長・神戸市立医療センター中央市民病院 放射線診断科 参事
澤田 友宏	海鳥会(同窓会)会長・社会医療法人ペガサス馬場記念病院 薬剤部
林 伸樹	兵庫医科大学 後援会会長・林小児科内科 院長
木内 道祥	弁護士
八田 昌樹	兵庫県医師会長・八田クリニック 院長
北川 透	医療法人協和会 理事長
西岡 清	東京医科歯科大学(現:東京科学大学)名誉教授
丸山 美津子	公益社団法人兵庫県看護協会 会長
岩崎 敏雄	西宮市 副市長

○ 教職員数(2026年3月31日現在)

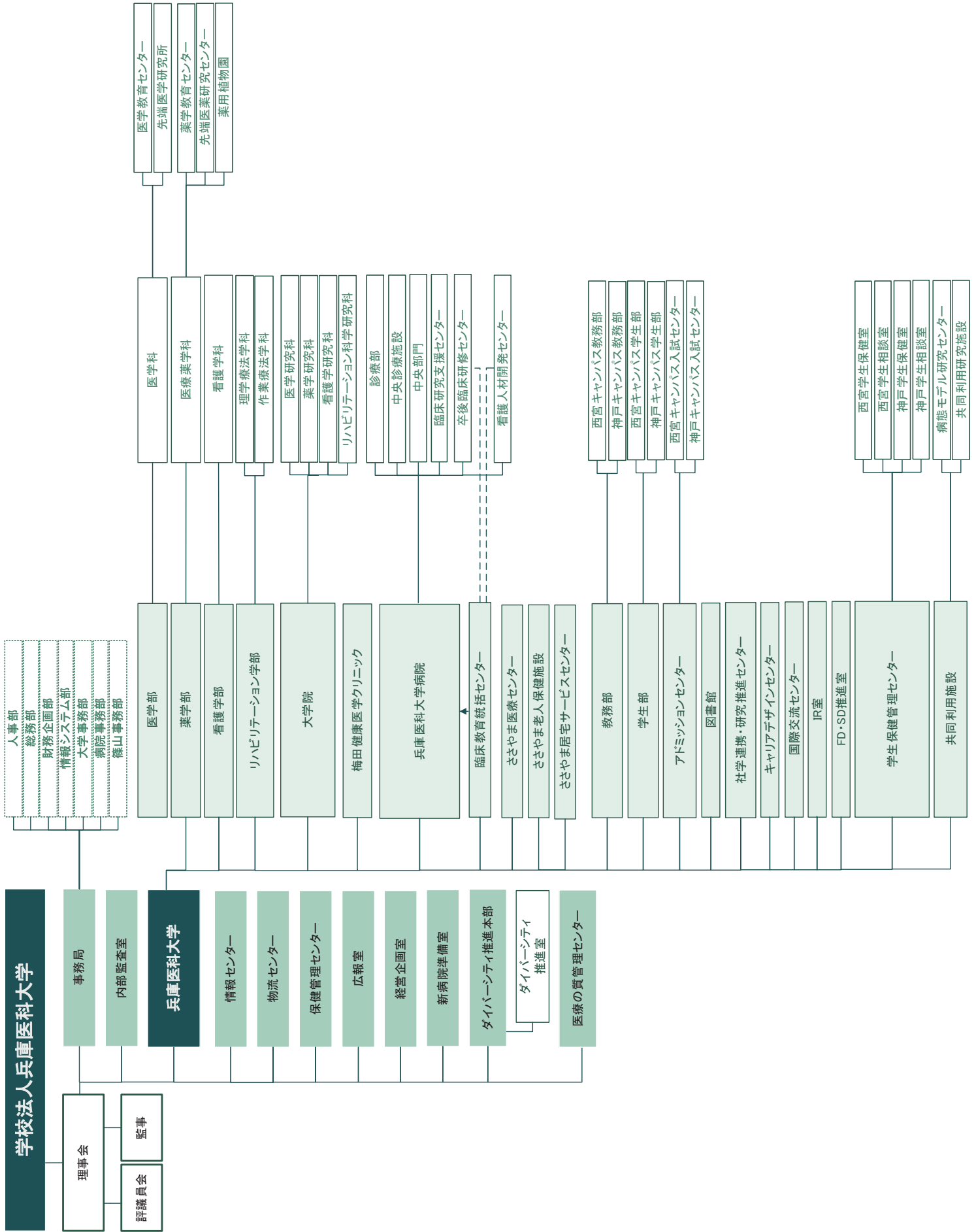
1. 教員数

	西宮 キャンパス	篠山 キャンパス	神戸 キャンパス	梅田 キャンパス	合計
学長	1				1
副学長	3		2		5
教授	79	1	44	1	125
准教授	37	2	24		63
講師	75	4	25		104
助教	206	6	28	3	243
助手			5		5
合計	401	13	128	4	546

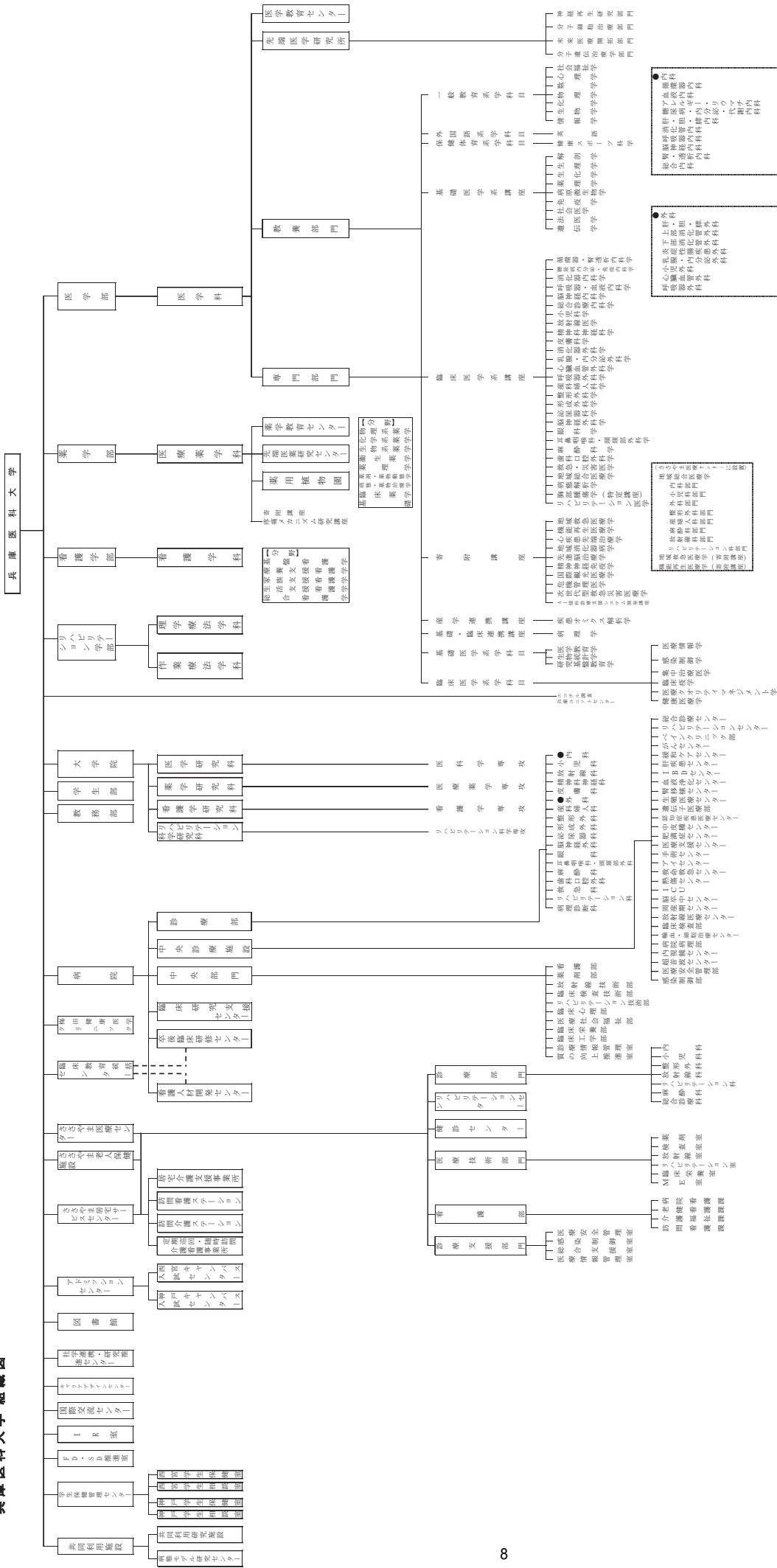
2. 職員数

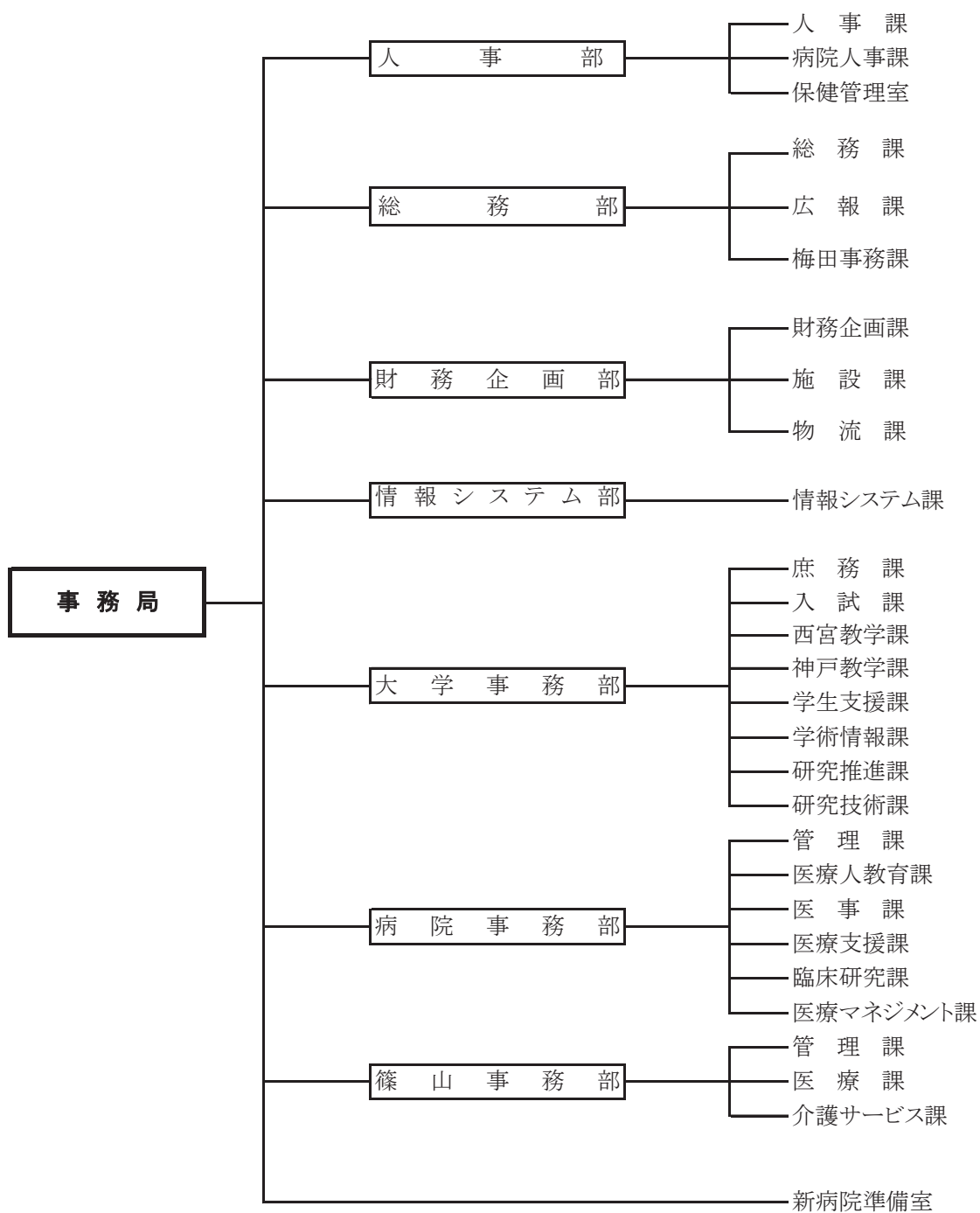
		西宮 キャンパス	篠山 キャンパス	神戸 キャンパス	梅田 キャンパス	合計
医師	病院長	1	1			2
	梅田健康医学クリニック 院長				1	1
	病院助手	102	3			105
	レジデント	98	5			103
	臨床研修医	99				99
医療技術職員		1362	157	5	28	1552
その他技術職員		192		14	1	207
福祉職員		10	43			53
事務職員		442	41	45	22	550
技能・労務職員		151	22	1	1	175
合計		2457	272	65	53	2847

5. 組織



兵庫医科大学 組織図





6. 関 連 法 人

○ 株式会社 エイチ・アイ

設 立 日	2004 年 12 月 1 日
資 本 金	1,000 万円
所 在 地	西宮市武庫川町 1 番 1 号
出 資 者	学校法人 兵庫医科大学
役 員 構 成	代表取締役 松 村 昭 夫 常務取締役 香 川 静 麿 取 締 役 池 内 浩 基 取 締 役 津 田 志 門 取 締 役 谷 和 彦 取 締 役 中 村 高 志 取 締 役 小 寺 齊 人 取 締 役 高 橋 仁 美 取 締 役 上 田 幹 夫 監 査 役 岡 田 成 弘
従 業 員	21 名
事 業 内 容	飲食店・売店の運営管理、業務受託他

○ 有限会社 エイチ・アイ・サービス

設 立 日	2005 年 1 月 5 日
資 本 金	300 万円
所 在 地	西宮市武庫川町 1 番 1 号
出 資 者	株式会社 エイチ・アイ
役 員 構 成	取 締 役 香 川 静 麿
従 業 員	3 名
事 業 内 容	損害保険代理店業、業務受託他

Ⅱ 事業の概要

1. 2025 年度事業計画＜重点施策＞と達成状況

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
1	<p>【事業名】 質の高い入学生の確保と薬学国家試験対策の強化</p> <p>【事業の概要】 1. 新入試制度の企画、運営及び検証 (全学) 2. 新たな志願者層確保のための募集活動強化 (全学) 3. 高大連携に係る活動強化 (全学) 4. 国家試験対策の強化 (薬学部)</p>	<p>1. 新入試制度の企画、運営及び検証(全学) ＜新入試制度の企画等＞ ・ 新入試制度の試験実施方法を検討し、学生募集要項への記載事項を整理のうえ、学生募集要項・各種様式を作成している。総合型選抜の新入試は問題なく実施した。 ・ 2025 年度入試結果を踏まえて、2027 年度入試概要を検討し、薬学部・看護学部・リハビリテーション学部については、アドミッションセンター・神戸キャンパス入試センター合同会議にて 2027 年度新入試制度の論点整理を行い、7 月・9 月に神戸キャンパス入試検討委員会を開催した。医学部については、7 月に西宮キャンパス入試検討委員会を開催した。各委員会・教授会で決定した 2027 年度入学者選抜要領案は、大学運営会議・常務会にて承認された。</p> <p>＜学外入試会場の検証＞ ・ 学外入試会場は費用対効果を検証した結果、高松試験会場を廃止し、岡山試験会場を存続させ、利便性の高い岡山駅周辺に移転する。</p> <p>＜薬学部指定校の見直し＞ ・ 2025 年度薬学部学校推薦型選抜指定校制にて地方の高校から入学者があった為、地方の高校及びアドミッションセンター参事の訪問調査(大阪府・兵庫県の高校)に基づく高校を新たな指定校案として、教授会にて指定校案が承認された。</p> <p>2. 新たな志願者層確保のための募集活動強化(全学) ＜SNS の活用促進＞ ・ 高校生の SNS 活用に関して、Instagram の利用率が高いことから、アドミッションセンター公式の Instagram を開設することとし、アドミッションセンター学生募集専門部会、教授会、大学運営会議にて承認された。 ・ 主に 4 学部全体に関する内容や入試、イベントに関する内容を発信する。神戸 3 学部の学生からアドバイザーを選出し、定期的な会議を開催し、学生から SNS 活用に関するアドバイスを受けた。</p> <p>＜WEB コンテンツの見直し＞ ・ 受験生サイトの内容を充実させる為に受験生サイト用のショート動画を作成し、10 月から運用を開始した。</p> <p>＜オープンキャンパス企画の見直し(薬・看・リハ)＞ ・ オープンキャンパスへの来場促進の為に今年度から入試対策講座を来学型とし、年内入試志向が強いことから学校推薦型選抜を含めた内容で 6・8 月に実施した。 ・ 入試ガイダンスは 6 月オープンキャンパスでは高校 3 年生の来場が多い事から、総合型選抜の説明に重点を置いた。 ・ 2026 年度に竣工する新病院棟に関する内容の展示や学部横断企画としてクイズラリーを実施した。 ・ 今年度からキャンパス見学会(神戸キャンパス イブニングキャンパスツアー)を 9 月、10 月に実施した。</p> <p>＜オープンキャンパス企画の見直し(医)＞</p>

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 例年の内容に加え、学生によるキャンパスツアーの実施、2026 年度に竣工する新病院棟に関する内容を展示した。 <p>3. 高大連携に係る活動強化(全学)</p> <p><高大連携活動の調査></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校からの要望は探究活動支援、大学内・高校内での学部系統別講義、病院見学会であった為、アドミッションセンターにて対応することとなった。 ・ 阪神地区公立学校長会の神戸キャンパスでの開催依頼(連携校の校長からの依頼)があり、高大連携の一環として対応し、本学の説明及びキャンパス見学を実施した。 <p><高大連携イベントの実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月21日(月・祝)に高大連携校を対象に高大連携イベントとして職業理解プログラム、大学教育プログラム、授業体験、キャンパス見学の内容で実施した。参加者は前年度比で増加した。 ・ 兵庫医科大学病院見学会を、12月と3月に実施した。 <p><探究活動支援の実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高大連携校27校中16校から探究活動支援の事前相談があり、7校に支援している。また、個別の大学見学会(学部系統別講義)も対応している。 <p><探究活動発表会の改善、入試への接続検討></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究活動研究発表会を3月20日(金・祝)に実施することとし、今年度は午前一般演題、午後入賞演題を発表する2部形式として、規模を拡大して実施した。30組の応募のうち、一般演題として15組、優秀演題として8組の発表があり、発表会には102名の参加があった。 ・ 探究活動研究発表会の入試への接続として学校推薦型選抜(薬学部・看護学部・リハビリテーション学部)の評価項目とした。 <p>4. 国家試験対策の強化(薬学部)</p> <p><成績下位者への面談、補講(フォローアップ実施)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【4年生】2025年より導入された正規科目の基礎薬学演習と並行して、自習や勉強会、補習を連動させて実施した。補習の内容として前期は自主学習および動画を用いた自主学習、後期は演習を中心に切り替えて実施した。 ・ 【5年生】予備校の動画を配信し視聴状況の確認を行った。また、研究室単位で確認試験を実施し、動画視聴状況・確認試験結果不良学生には、研究室教員が指導した。 ・ 【6年生】各模擬試験実施後にガイダンスを実施し、学生へ成績状況や、今後取り組むべき学習内容についてフィードバックを行った。また8月実施の模試を基準とし、成績下位者へは薬学教育センターおよび国試対策委員会の教職員が中心となり、模試後に定期的な面談を行い学習指導・計画立案を実施した。この結果、薬剤師国家試験の結果は卒業生合格率 84.85%との結果となった。 ・ 【6年生】8月実施の模試から模試ごとに、全国平均点に到達しなかった学生を対象に研究室で、国試対策講習会の講義日翌日に学習内容を理解したか確認するアフターテストを実施した。一部学生については精神的不安定さなどから指導が難しい状況である旨、各研究室より報告があった。また、12月の総合演習Ⅱ本試験で不合格になった学生は再試験の学習に専念しアフターテスト

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
		<p>を実施しない学生が多く、実施率は下がる傾向にあった。最終的な実施率は 50.8%であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【全学年】薬学教育センターで成績下位者面談を実施した延べ人数は、1 年生 115 人、2 年生 159 人、3 年生 85 人、4 年生 129 人、5 年生 20 人、6 年生 107 人、累計 615 人であった。 <p>＜学修支援システムによる国家試験対策の充実＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 学修支援システム ESS を活用した通常講義の形成評価として E テストを 1 年生 18 回、2 年生 9 回実施した。そのフォローアップ補習を 1 年生に 37 回、2 年生には 37 回実施した。また、E テストの成績や前期の学習状況から、重点的な対応が必要と認められた学生には 1 年生対応チームの教員が、2 週間に 1 度程度の定期的な学習指導を実施した。なお、3 年生は時間割の都合から今年度の実施は見送り、次年度から実施することとした。E テストの結果は科目担当教員にフィードバックし、通常成績評価の一部とした。また、成績評価と E テストの成績には関連が見られるため学生へも各ガイダンスにてフィードバックを実施した。
2	<p>【事業名】 新病院棟開院に向けた診療体制の構築と収益性の確保</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新病院における適正病床数を見据えた病棟・ケアユニットの再編成 2. ロボット手術件数の増加とそれに伴う手術センターの効率的な実施体制の構築 3. 救急患者受け入れにかかる応需フローの整備 4. 地域連携体制のさらなる強化 5. 患者満足度の向上を目指したサービス・設備の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新病院における適正病床数を見据えた病棟・ケアユニットの再編成 <p>＜各診療科、部門との新病院に向けた診療体制の検討＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業計画の進捗管理にあたり、各診療科に対して、収益別 DPC トップ 10 および当該 DPC における期間別患者数を提示し、現状説明を行うことで、現在の診療実態に関する認識共有を図った。そのうえで、新たに各診療科別の退院時における DPC 期間別の実患者数および診療単価に関する資料を作成し、特に DPC 期間Ⅲを超える症例について、実患者数と診療単価を視覚的に把握できるよう対応した。また、DPC 期間Ⅱ以内での退院促進を病院の基本方針として周知(2026.2.27 付通知)するとともに、退院調整ルール(退院決定は医師、退院日決定は看護師)の再徹底を行った。 <p>＜ケアユニット病棟の効果的且つ合理的な再編及び検証＞</p> <ul style="list-style-type: none"> EICU・CCU 病棟の入院料変更により、従来は算定できなかった院内転棟患者分のみで、月額約 300 万円程度の増収を確認している。また、入院料変更に伴う査定状況についても確認を行った結果、当該変更を起因とした査定増は生じていないことを確認している。さらに、救急病棟、ICU2 病棟、HCU 病棟等における診療報酬算定区分の変更を踏まえ、効果的な PFM(患者フロー・マネジメント)について、医師・看護師等の多職種で検討を進めている。 新たな救急応需体制フローにおいては、診療科間の相互協力および円滑な転科・転棟を基本ルールとして明確化している。しかしながら、一部において診療科間での患者対応に関する調整が十分に機能せず、その結果、救急受け入れを見送る事例が発生したことから、都度、関係する診療科部長および医局長を招集し、病院長によるヒアリングを実施したうえで、必要な指導を行っている。さらに、病院長によるトップダウンの実効性を高めるため、ヒアリングの実施にとどまらず、当該事例については経緯報告書および改善計画書の提出を求める運用とし、「断らない救急」の実現に向けたガバナンス強化を今後も継続していく。 2. ロボット手術件数の増加とそれに伴う手術センターの効率的な実施体制の構築

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
		<p><ロボット手術件数増加></p> <ul style="list-style-type: none"> 2025 年度当初に行った、ロボットワーキングにおいて、心臓血管外科および炎症性腸疾患外科の新規参入と、当院におけるサーティフィケーションについて指導料の按分等の運用を定めた(2025 年度は、8 施設・11 名への指導を実施)。また、hinotori も含めたロボット手術枠を再編し、効率性を向上した。 <p><安定した手術の実施></p> <ul style="list-style-type: none"> アイセンターの局所麻酔手術枠として木曜 1 日・一室を使用可能となったが、現時点では診療科側の都合に鑑み調整中である。 手術センター主導で IVR センターの全身麻酔枠の午前枠を増枠し、他施設への患者流出に歯止めをかけた。 さらなる平準化を目指し、IVR センターで追加フリー枠が確保できるよう調整中である。 <p>3. 救急患者受け入れにかかる応需フローの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急応需体制フローについては、全診療科への説明および病院 部長会・医局長会議での方針共有を経て、2025 年 8 月より新体制の運用を開始した。あわせて、近隣 5 市の消防本部に対し、新たな受入体制および三次救急に加え重症度の高い二次救急症例の受入拡大方針について渉外活動を実施した。運用開始後、体制運用上の課題が一部認められているものの、病院長主導で是正を進め、フローの定着と安定運用を図っている。今後は、働き方改革(宿日直許可)との整合性を踏まえ、来年度を見据えた持続可能な救急応需体制の構築に向け検討を進める。 適正配置協議会において救急救命士の採用が承認され、現在公募を実施しているが、採用には至っていない。救急救命士を救急受入れ窓口業務に加え、下り搬送を含む院内外の患者搬送やプレホスピタル事業に従事させることで、新たな救急体制の構築に大きく寄与するものと見込んでいる。今後は、病院事務部を中心に、採用後の救急救命士と連携しながら、当該体制の構築に向けた準備を進める。 <p>4. 地域連携体制のさらなる強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規開業した同窓生に対し開院祝いとして胡蝶蘭の送付を行うこととしてルーティンを確立した(3 件対応)。今年度の複数回にわたる同窓会事務局との打合せにより、同窓会事務局への定期的な情報提供および同窓会事務局の状況共有を行うことができた。また次年度については定期で情報共有会を行うこととなった。 複数病院の地域連携室への見学を実施した。11 月実施の阪神メディカルアライアンスにおいて、地域連携部会の立ち上げを提案。結果、地域連携部会を立ち上げることとなった。 オンライン紹介予約に参画する診療科の調査実施を行い、4 診療科から参加の現在各診療科との調整を進めており、次年度は 24 診療科での実施となる予定である。 <p>5. 患者満足度の向上を目指したサービス・設備の充実</p> <p><新病院移転を見据えた各種体制の整備></p> <ul style="list-style-type: none"> 2025 年 12 月より 4 名体制でフロアコンシェルジュの運用を開始した。患者からも好評であり、新病院においても体制を整備し、より良い環境作りを目指す。 新病院で運用を開始する Web 問診について、各種会議体で説

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
		<p>明したうえで、2026年3月より各科へ個別ヒアリングを実施している。次年度もヒアリングを継続し、各科の個別問診票を作成し、共通問診票とともに運用テストを経て、新病院での開始を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新病院の院内サインについては対応済。デジタルサイネージについて配置場所は決定したが、表示内容について次年度早期に決定する予定。 導入した予約採血システム稼働後の採血待ち時間の平均削減率は32%であり、一定の効果が見られる。特に朝8時台の削減率は43%と高値を記録しており、当該システムは順調に稼働している。
3	<p>【事業名】 安全かつ経営的視点に基づく新病院棟移転計画の策定</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> ワーキンググループの発足・稼働 患者移送、機器・什器、病院システム導入および移設にかかる計画の策定 開院に向けた準備・周知・訓練実施計画 	<ol style="list-style-type: none"> ワーキンググループの発足・稼働 <ul style="list-style-type: none"> 1月中旬に医師からの選出も含め、初期構成員が確定した。今後、部会を開催していく上で必要に応じて構成員を追加する予定である。 患者移送、機器・什器、病院システム導入および移設にかかる計画の策定 <p>＜患者移送にかかる計画の策定＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者移送部会分科会にて、移送にかかるタイム計測(4月)、シミュレーション(7月)、リハーサル(8月)のスケジュールを策定した。まずはタイム計測をもとに、安全に移送可能な患者数を概算し、病院幹部会議にて諮る予定である。 <p>＜機器・システム移設にかかる計画の策定＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月より、開院支援業務委託先であるシップ(SHRC)作成の移設対象物品リストをもとに、日本通運によるヒアリングを開始した。物品搬送部会分科会にて随時その状況を報告される予定である。 移設スケジュールに合わせ、電子カルテ停止期間とその影響に鑑み、最終的な日程を調整中である。 開院に向けた準備・周知・訓練実施計画 <ul style="list-style-type: none"> 患者移送にかかるリハーサル等について日程は概ね確定した。別途、電子カルテ更新に伴うリハーサルについても8月に2回実施することで日程は概ね決定しており、そのリハーサルで重要となる模擬患者シナリオやオーダーにかかる書式等を現在準備中である。
4	<p>【事業名】 教職員満足度及び帰属意識の向上に資する魅力ある組織風土を目指した改革機運の醸成</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 学校法人兵庫医科大学が目指す組織風土・職場環境の制定及び教職員への広報施策の実施 教職員のワークライフバランスの実現を目指した施策の実施 	<ol style="list-style-type: none"> 学校法人兵庫医科大学が目指す組織風土・職場環境の制定及び教職員への広報施策の実施 <p>＜学校法人兵庫医科大学が目指す組織風土・職場環境の制定＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員へのヒアリング調査を効果的に実施するために、昨年度実施した教職員満足度調査の分析を終え、ヒアリング調査の実施方法(調査対象者、職種、人数、質問項目など)を定め、8月初旬よりヒアリング調査を開始し、10月末日に完了した。対象者263名のうち237名に対しヒアリングを実施し、ヒアリング内容の分析・まとめを行い、本法人が目指す組織風土・職場環境及び2026年度に実行する具体的な施策を2026年4月常務会に附議する。 <p>＜本法人が目指す組織風土・職場環境＞</p> <p>安心して意見を出し、協力して未来へ挑戦できる風土の中で、一人ひとりが力を発揮できる環境</p> <p>＜施策の方向性＞</p> <p>①個人と組織がつながる</p>

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
	<p>3. 教職員の福利厚生の充実を目指した施策の実施</p>	<p>②個人と個人(部署と部署)がつながる ③個人の充実につながる (2026 年度実行施策) ①民間フィットネス等利用補助の導入 ②時間有給休暇制度の導入 ③既存制度のまとめサイト作成</p> <p><教職員への広報施策の実施> <ul style="list-style-type: none"> 調査・アンケートの結果、既存の人事・福利厚生制度の認知度が低いことが課題として浮き彫りとなったことから、新規制度の周知を含む情報発信の最適化に向け、以下の通り取り組んだ。既存制度のまとめサイトの構築と合わせて以下を実行していくこととなる。 <ol style="list-style-type: none"> 人事部ホームページの改修:ヒアリングにて「情報が探しにくい」との指摘を多く受けたことから、利便性向上に向けたHPの再整備を進めているが完成に至らず。 SNS(LINE 公式)の活用:当初検討していた人事部単独でのLINE 運用は、登録者数の確保に課題があるため、既存の「エイチ・アイ公式 LINE」を活用した周知を図る方針とした。 <p><教職員満足度調査の実施> <ul style="list-style-type: none"> 実行施策による満足度の変化を確認するために、教職員満足度調査は毎年8月頃に実施する。次回は 2026 年 8 月を予定。 <p>2. 教職員のワークライフバランスの実現を目指した施策の実施 <教職員のワークライフバランスの実現を目指した施策の実施> <ul style="list-style-type: none"> 教職員へのヒアリング調査を効果的に実施するために、昨年度実施した教職員アンケート結果の分析を終え、ヒアリング調査の実施方法(調査対象者、職種、人数、質問項目など)を定め、8 月初旬よりヒアリング調査を開始し、10 月末日に完了した。対象者 263 名のうち 237 名に対しヒアリングを実施し、ヒアリング内容の分析・まとめを行い、2026 年度に実行する具体的な施策として「時間有給休暇制度の導入」を 2026 年 4 月常務会に附議する。 <p><ワークライフバランス関連制度に対する教職員の認知度及び利用率の向上> <ul style="list-style-type: none"> 調査・アンケートの結果、既存の人事・福利厚生制度の認知度が低いことが課題として浮き彫りとなったことから、新規制度の周知を含む情報発信の最適化に向け、以下の通り取り組んだ。既存制度のまとめサイトの構築と合わせて以下を実行していくこととなる。 <ol style="list-style-type: none"> 人事部ホームページの改修:ヒアリングにて「情報が探しにくい」との指摘を多く受けたことから、利便性向上に向けたHPの再整備を進めているが完成に至らず。 SNS(LINE 公式)の活用:当初検討していた人事部単独でのLINE 運用は、登録者数の確保に課題があるため、既存の「エイチ・アイ公式 LINE」を活用した周知を図る方針とした。 <p>3. 教職員の福利厚生 of 充実を目指した施策の実施 <教職員の福利厚生 of 充実を目指した施策の実施> <ul style="list-style-type: none"> 教職員へのヒアリング調査を効果的に実施するために、昨年度実施した教職員アンケート結果の分析を終え、ヒアリング調査の実施方法(調査対象者、職種、人数、質問項目など)を定め、8 月初旬よりヒアリング調査を開始し、10 月末日に完了した。対象者 263 名のうち 237 名に対しヒアリングを実施し、ヒアリング内容の分析・ </p></p></p></p></p>

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
		<p>まとめを行い、2026 年度に実行する具体的な施策として「民間フィットネス等利用補助の導入」を 2026 年 4 月 常務会に附議する。</p> <p><福利厚生制度に対する教職員の認知度及び利用率の向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査・アンケートの結果、既存の人事・福利厚生制度の認知度が低いことが課題として浮き彫りとなったことから、新規制度の周知を含む情報発信の最適化に向け、以下の通り取り組んだ。既存制度のまとめサイトの構築と合わせて以下を実行していくこととなる。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 人事部ホームページの改修:ヒアリングにて「情報が探しにくい」との指摘を多く受けたことから、利便性向上に向けたHPの再整備を進めているが完成に至らず。 (2) SNS(LINE 公式)の活用:当初検討していた人事部単独でのLINE 運用は、登録者数の確保に課題があるため、既存の「エイチ・アイ公式 LINE」を活用した周知を図る方針とした。

2. 法 人

○ 新病院棟建設工事進捗状況

2023年5月15日より開始された新病院棟建設工事について、昨年度に引続き総合図ヒアリングを関係部署と実施した。また、床頭台や新病院棟内什器・家具についても納入メーカーを決定。コストの抑制に努めながら、現在納品に向け手続き中である。2026年3月末時点での工事出来高率は98.3%、日程経過率は95.9%となっている。

また、2023年11月より立上げた「10号館改修計画WG」は、2025年度は基本設計を完了し、現在実施設計に着手中。今後は改修工事内容の確定、工事費用の精査を経て工事請負業者を決定し、2027年1月(予定)の工事着工に向け進めていく。

○ 経営移譲に向けた基本合意書の締結について

2026年3月27日にささやま医療センター等の経営移譲に関して、本学と丹波篠山市、移譲先である医療法人社団みどり会にしき記念病院と最終合意書を締結した。2026年7月1日付での経営移譲に向けて、丹波篠山地域での医療・介護に空白期間が生じることがなく、円滑な引継ぎができるように運営中である。

○ 内部監査室

1. 業務・会計監査の実施

- ① 定例監査 公的研究費(2024年度執行分)
- ② 定例監査 特定機能病院の管理者(病院長)に係る業務の執行状況
- ③ 特定個人情報(マイナンバー)管理
- ④ IT-BCPの策定状況
- ⑤ 臨時監査 大学発アーバンイノベーション神戸(2024年度)補助金

2. 公益通報等の申立窓口事務

- ① 公益通報 1件
- ② 研究活動の不正行為の通報 1件

3. 監査の情報交換

日本内部監査協会、大学監査協会、日本公認不正検査士協会及びその他外部セミナーへの参加

4. 監事、監査法人との連携・情報の共有

- ① 三様監査連絡会参加(監事および監査法人と情報交換の開催)3回(5月、9月、3月)
- ② 監事会オブザーバー参加 6回(奇数月)
- ③ 決算監事会参加(5月)
- ④ 監査法人の監査計画説明会参加(9月)

○ 保育事業利用実績

	利用者数	対前年度
病児保育室	延 40 名 (登録者数 304 名)	61.5% (106.3%)
保育園ポポラー		
本学専用枠(月極)	平均 34 名	98.6%
夜間保育	延 191 名	60.8%
祝日開院日(全 4 日)	延 64 名	

○ ダイバーシティ推進事業

1. ダイバーシティ推進事業 総括シンポジウムの開催

開催日時	2026年3月18日(水) 15:00-17:00
開催場所	教育研究棟2階 202講義室およびZoom(ハイブリッド形式)
内 容	文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)」総括シンポジウム
第1部	1. ダイバーシティ推進事業成果報告 ダイバーシティ推進担当学長補佐/ダイバーシティ推進室長 高雄 由美子 2. ダイバーシティプロジェクト(DP)教員制度 2023年度採択者による研究成果報告 病理学病理診断部門 臨床講師 木原 多佳子/小児科学 臨床准教授 李 知子
第2部	1. 基調講演「令和時代のキャリアデザインとは」 講師:広島大学医学部附属医学教育センター長 蓮沼 直子 教授 2. 講評 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)プログラム主管 山村 康子氏

2. ダイバーシティプロジェクト教員制度

医学部女性教員の管理職比率を高めるための施策として2023年度より開始した「ダイバーシティプロジェクト(DP)教員制度」について、2025年度は准教授コース1名と講師コース3名の計4名を採択し、11月6日に採択証書授与式を行った。

2023年度採択者の2名については、2025年度末で3事業年度のDP教員適用期間を終了することから、2026年3月18日(水)に開催したダイバーシティ推進事業 総括シンポジウムにおいて、研究およびDP教員としての成果報告を実施した。

○ 兵庫医科大学保健管理センター

2025年度の主な事業報告は次のとおり。

1. 健康診断関係

○全キャンパスの教職員健康診断を近畿健康管理センターに委託して実施し、健診結果の管理、受診勧奨等を行った。

各健康診断の実施延人数は次のとおり。

健康診断種類	西宮	篠山	神戸	梅田
定期健康診断	3,166	287	190	44
特定業務従事者健康診断	1,769	407	9	0
電離放射線特殊健康診断	1,020	61	24	3
有機溶剤特殊健康診断	117	14	28	0
特定化学物質特殊健康診断	38	14	22	0

2. 感染対策関係

○新採用者の感染予防対策について

新入職の教職員を対象に、職種、雇用形態に応じ、4種(麻疹、水痘、ムンプス、風疹)、B型肝炎、結核のワクチン接種歴及び抗体価検査の情報を提出させ、入職前の免疫獲得状況を確認している。

3. 医師の長時間勤務対策

2024年4月からの医師の働き方改革に伴い、1カ月の時間外・休日労働時間が80時間を超えた医師を100時間以上と見込まれる医師とみなし、面接指導実施医師による面談を実施している。4月から3月の面談対象医師は延べ54人であった。

4. ストレスチェックの実施

事業主に義務付けられている心理的な負担の程度を把握するための検査「ストレスチェック」を厚生労働省が公表した指針に基づき、外部機関(ティーベック株式会社)に委託してWeb方式で10月に実施した。

キャンパス全ての常勤職員を対象に実施し、結果は以下のとおりであった。

区分	実施率	高ストレス者率	報告会
全体	86.4%	16.7%	2026年3月 理事長に報告
西宮 梅田	85.5%	16.4%	2026年2月 安全衛生委員会に報告
神戸	87.9%	17.1%	2026年3月 神戸キャンパス協議会に報告 2026年3月 衛生委員会に報告
篠山	93.5%	18.5%	2026年2月 衛生委員会に報告

5. セミナー及び研修会等の実施

日時	セミナー等		参加人数
1月5日～ 2月28日	e-ラーニング 株式会社 日本教育クリエイト	全教職員 「ハラスメント防止研修」	2,807名
		一般教職員 「感情のセルフメンテナンス(セルフケア)」	2,409名
		管理職 「メンタルヘルス(ラインケア)」	398名
11月1日～ 11月30日	RenoBody(アプリ)	ウォーキングイベント「てくてく兵医うおへく」	569名
7月28日～ 8月31日	Motion DNA ミズノ株式会社	歩行測定	663名

○ 情報センター

1. 情報センター運営協議会

今年度は10月定例会、臨時3回、持回り審議1回の計5回開催した。新病院における情報システム及びネットワーク関連について概要・費用・調達時期に関する協議を行うとともに、2026年度の新規システム導入や既設システム更新等の各部署要望について必要性や費用対効果を踏まえた予算化を協議し、情報センターの次年度予算案として取りまとめた。

2. 2025年度事業計画の完遂

(1) 病院系システム更新計画の策定

2026年度の新病院開院に向けて、2025年9月より新病院情報システム構築プロジェクトを開始した。電子カルテWG(59回)や部門システムWG(94回)を通じ、医療DXや利便性向上に繋がる仕様検討を推進するとともに、院内情報共有サイトを公開し、工程管理やシステムに関するマニュアル等の周知を行った。

(2) 法人系システム更新計画の実施

人事システムについては、データ移行やシステム連携等の構築支援を計画通り実施した。全体の進行遅延に伴い稼働時期は2026年度へ再編されたが、引き続き支援を継続する。財務システムは導入フェーズに移行し、定例会への参画やサーバ等のインフラ構築、データ連携対応を通じて、2026年度の本稼働に向けた円滑な導入支援を行った。

(3) ネットワーク更新計画の策定と情報セキュリティ対策強化

新病院のレイアウトや情報システムの仕様確定を踏まえ、ネットワーク構成についても策定を完了するとともに 2026 年度初頭の新病院と既存建屋の接続に向けた準備を整えた。情報セキュリティ面では、e ラーニング研修や標的型メール訓練に加え、外部接続業者へのヒアリングや回線集約化による不正アクセス対策強化を図った。実施内容は情報セキュリティ委員会へ報告し、情報リテラシー向上と安全性確保に努めた。

3. 2025 年度の新規システム導入及び既設システム更新

(1) 西宮キャンパス

- ① 病院系(クラウド型治験文書管理システム導入、カルテ現行自動生成システム導入等)
- ② 法人・大学系(財務システム更新、図書館システムデータ統合、教務システム GPA 対応等)

(2) 神戸キャンパス

- ① 法人・大学系(WEB 出願・入学手続きシステム改修)

(3) 篠山キャンパス

- ① 病院系(生理検査システム、放射線画像システム更新)

4. BPR・RPA 推進

昨年度に引き続いて事務局 BPR 活動において、グループウェア上でのワークフローや RPA 等を利用した業務の効率化など各部署の業務改善支援を行った。また学内での生成 AI 利用の環境を整えるとともにシャドー IT 対策を目的として生成 AI ガイドラインを公開した。

5. その他

情報セキュリティ委員会開催

基本規程や情報関連規程の改正・改廃、新基準への統合やセキュリティ対策案について方針を固めた。

○ 物流課

1. 医療材料・消耗品の価格低減推進

社会情勢や金融動向の影響による物品価格の上昇が続いている中、SPD と連携してメーカーキャンペーン情報の共有や物品切り替え等のコスト改善施策を実施し、医療材料・消耗品の価格低減に継続して取り組んだ。また、近隣医療機関との共同購入の新たな展開により、主に消耗品購入価格の更なる低減を推進した。

2. 医薬品における後発品への切り替えと薬価交渉の取り組み強化

国の薬価引き下げ基調が続き医薬品購入コストが嵩んでいる状況下、薬剤部と連携した後発医薬品への切り替え策定や、採用時からの値上げが継続している品目の調査等、取引状況の分析に基づいた購入価格交渉の強化を進めた。医薬品流通改善ガイドラインを踏まえた対応等もあり、年間薬価差益額の一定水準の確保に苦戦した。

○ 施設課

1. 西宮キャンパス

(1) 土地・建物の状況 23 ページ参照

(2) 建物・設備等の主な改修及び更新

- ① 10 号館 受変電設備点検に伴う仮設電源供給作業
- ② 平成記念会館 1 階大講堂吊り天井耐震点検
- ③ PET センター 2 階 PET/CT 室 PET-CT 撮影装置更新に伴う一次側電気設備工事
- ④ PET センター PET/CT 室 空調機器設置工事
- ⑤ 急性医療総合センター 7 階非常照明用蓄電池交換作業
- ⑥ 急性医療総合センター 1、2 階救命救急センター他電話システム更新工事

- ⑦ 急性医療総合センター 1階 CT室内救急用 CT撮影装置更新に伴う一次側電気設備工事
- ⑧ 急性医療総合センター 1～4階セキュリティ用制御盤更新工事
- ⑨ 急性医療総合センター 医療ガス設備機器整備工事
- ⑩ 急性医療総合センター 手術室系統空調機器整備工事
- ⑪ 急性医療総合センター CT室 空調機器設置工事
- ⑫ 急性医療総合センター 手術室絶縁監視装置更新工事
- ⑬ 教育研究棟 空調用熱源機器整備工事

2. 篠山キャンパス

- (1) 土地・建物の状況 24 ページ参照
- (2) 建物・設備等の主な改修及び更新
特になし

3. 神戸キャンパス

- (1) 土地・建物の状況 24 ページ参照
- (2) 建物・設備等の主な改修及び更新
 - ① キャンパス全体 天井照明器具 LED 化工事
 - ② 外壁タイル補修工事
 - ③ P棟 オクタホール吊り天井耐震点検
 - ④ G棟 病態モデル研究センター空調機器整備工事
 - ⑤ ミニグラウンド整地工事

4. 梅田キャンパス

- (1) 土地・建物の状況 25 ページ参照
- (2) 建物・設備等の主な改修及び更新
特になし

土地・建物の状況

○ 西宮キャンパス

建物区分	規模・構造	延床面積 登記(m ²)	使用区分	所在地及び 敷地面積(m ²)
1号館 (校舎・病院)	SRC・S造 地下 1階 地上 13階 塔屋 2階	43,134.11	病院、臨床系研究室	武庫川町 20,574.02
1号館附属棟 (事務所、食堂)	S造 4階	1,602.48	病院管理部門、食堂、売店	
2号館 (校舎・病院)	RC造 塔屋 6階 1階	5,563.50	病院、臨床系研究室、学生自習室	
教育研究棟 (校舎・講堂)	S造 塔屋 12階 1階	30,827.24	講義室、学生実習室、管理部門	
新立体駐車場 (車庫)	S造 6階	14,071.07	立体駐車場、車庫	
デッキ棟 (店舗・倉庫)	S造 3階	642.71	店舗、倉庫	
廃液・廃棄物倉庫棟	W造 2階	246.24	清掃事務所、倉庫	
小計(西側敷地)		96,087.35		20,574.02
8号館 (校舎・病院)	SRC・S造 地下 1階 地上 8階 塔屋 1階	12,694.74	病院、臨床系研究室	武庫川町 20,346.32
10号館 (病院)	SRC造 地下 1階 地上 10階 塔屋 1階	18,744.41	病院、管理部門	
急性医療総合センター (病院)	RC造 7階	15,239.17	病院	
資料室 (資料室)	S造 塔屋 2階 1階	2,717.76	病院、病歴資料室	
マニホールド室 (配管室)	S造 1階	15.37	マニホールド室	
小計(東側敷地)		49,411.45		20,346.32
平成記念会館 (講堂・体育館)	SRC造 地下 1階 地上 3階	5,642.92	体育館、部室、クラブハウス、講堂	小松南町 6,869.00
アーチェリー練習場他	-	-	アーチェリー練習場、ゴルフ練習場	小松南町 3,575.05
大学会館等 (学生会館)	S造 2階	531.57	食堂	池開町 452.89
留学生宿舍	W造 2階	89.01	宿舍	池開町 78.08
PETセンター (病院)	RC造 4階	1,856.80	病院	池開町 1,048.34
総合グラウンド	-	-	野球場・陸上競技場他	鳴尾浜
クラブハウス等 (クラブハウス)	S造 1階	498.85	クラブハウス、倉庫等	
救護室	S造	70.07	救護室	33,064.00
東鳴尾テニスコート	-	-	人工芝テニスコート3面	東鳴尾町
東鳴尾テニスコート更衣棟	CB造	47.55	更衣室	2,706.70
旧健康医学クリニック	RC造 3階	1,488.88	事務所	池開町 516.04
総合研修棟跡地	-	-	総合研修棟跡地	武庫川町 829.77(借地)
小計		10,225.65		48,310.10
合計		155,724.45		89,230.44

土地・建物の状況

○ 篠山キャンパス

建物区分	規模・構造	延床面積 登記(m ²)	使用区分	所在地 及び 敷地面積(m ²)
ささやま医療センター (病院)	RC造 4階	11,634.22	病院	丹波篠山市 郡家字八ノ坪 黒岡字よし池ノ坪 黒岡字葎池ノ坪 敷地面積(m ²) 17,037.70 丹波篠山市 山内町 黒岡字土居西ノ坪 黒岡字西池ノ坪 借地面積(m ²) 19,825.14 (丹波篠山市より無料貸与)
倉庫 (倉庫)	CB造 平屋建	52.50	倉庫	
病院	S造 地下1階 平屋建	1,089.33	病院	
看護師宿舎棟 (寄宿舎)	RC造 5階	1,214.71	宿舎(36戸)、ポンプ室、	
研修医棟 (寄宿舎)	RC造 4階	695.08	宿舎(15戸)、管理室、図書室、 討議室、講義室	
リハビリテーションセンター (リハビリテーションセンター)	RC造 平屋建 1部 S造	1,650.13	理学療法室、作業療法室、 動作評価室、診療室、他	
老人保健施設 (老人保健施設)	RC造 4階 塔屋	4,361.29	事務室、食堂、浴室、他 療養室(48室)計100人	
篠山キャンパス 看護師宿舎 (共同住宅)	RC造 3階	869.65	宿舎(28戸)	
ささやまみらい (寄宿舎)	木造 2階	680.29	学生宿舎	
合計		22,247.20		36,862.84

○ 神戸キャンパス

建物区分	規模・構造	延床面積 登記(m ²)	使用区分	所在地 及び 敷地面積(m ²)
P棟 (校舎)	SRC造 3階	8,753.86	管理部門、講堂、図書館、食堂、 売店、グループ学習室、保健室	神戸市中央区港島 49,138.00
M棟 (校舎)	SRC造 4階	17,025.71	講義室、学生実習室、教員研究室、 カンファレンス室	
G棟 (校舎)	SRC造 4階	9,296.26	研究室、動物実験室、RI実験室、 共同医学研究室、リハビリテーションラボ、 教員研究室、カンファレンス室、	
G棟アリーナ (体育館)	RC造 2階	2,792.26	アリーナ、部室、多目的室	
倉庫 (倉庫)	RC造 平屋建	125.06	倉庫	
守衛室 (守衛所)	RC造 平屋建	4.20	警備員詰所	
合計		37,997.35		

土地・建物の状況

○ 梅田キャンパス

建物区分	規模・構造	延床面積 登記(m ²)	使用区分	所在地
梅田健康医学クリニック	S造・一部SRC・RC構造 地下3階地上38階塔屋2階 13階部分	1,143.11	クリニック	大阪市北区梅田 大阪梅田ツイン タワーズ・サウス13階 (賃貸)
合計		1,143.11		

3. 大 学

○ 補助金等

1. 2025 年度 私立大学等経常費補助金

(単位:千円)

	一般補助	特別補助	合計	(参考)	
				2024 年度	2023 年度
兵庫医科大学	1,617,844	124,575	1,742,419	1,719,677	1,635,358

2. 2025 年度 私立大学等改革総合支援事業

私立大学等改革総合支援事業については、「タイプ 1:『Society5.0』の実現等に向けた特色ある教育の展開」、「タイプ 2:特色ある高度な研究の展開」、「タイプ 3:地域社会の発展への貢献(地域連携型)」が選定された。選定結果は下記のとおりである。

	得点
タイプ 1:『Society5.0』の実現等に向けた特色ある教育の展開	76 点／満点 100 点 ※選定基準 74 点以上
タイプ 2:特色ある高度な研究の展開	50 点／満点 84 点 ※選定基準 45 点以上
タイプ 3:地域社会の発展への貢献(地域連携型)	45 点／満点 59 点 ※選定基準 42 点以上

3.1. 西宮キャンパス

○ 社会学連携・研究推進センターの整備

センター業務に関する事項について、センターメンバーだけでなく専門的・部門横断的に審議を行い、施策を円滑に実行することを目的として、専門部会を設置することとし、研究推進専門部会および社会学連携専門部会を設置した。

○ 学校保健計画および学校安全計画の策定

これまで学生の安全管理体制として、①教育分野における安全管理体制、②課外活動における安全管理体制、③学生生活における安全管理体制、を構築していたが、学校保健安全法に則り、改めて、保健行事を通して、学生と教職員が心身の健康づくりを主体的に行えるようにすることを目標として、学校保健計画を策定した。

また、施設及び設備の安全点検、安全教育、安全管理、教職員の訓練(研修)等について、学校保健安全法に則り、現在実施している施策で要件を満たしていることを確認のうえ、整理、分類を行い、学校安全計画を策定した。

○ スチューデント・アシスタント制度の制定

教育・研究に関する補助業務等の実践的な活動の機会を提供することにより、学生が主体的に学び、学生相互の成長を図ることを目的として、スチューデント・アシスタント制度を設けた。

スチューデント・アシスタントとなった学生は、担当教職員の指示・監督指導のもとに学内で、講義、演習、実験、実習、実技に関する補助業務、本学教員による研究活動に関する補助業務等を行うよう体制整備を行った。

○ 2025 年度 第 49 回兵庫医科大学 卒業式・学位授与式

今年度より、医学部・医学研究科が加わった 4 学部・4 研究科合同により、2026 年 3 月 12 日(木)にポートピアホールにて、卒業式・学位授与式を執り行った。

○ 第16回(令和8年度)関西4私大学長(医学部長)・病院長連絡会

2026 年 2 月 13 日に Zoom によるオンライン開催にて、第14回関西4私大学長(医学部長)・病院長連絡会を開催した。本学が幹事校として、関西医科大学、大阪医科大学、近畿大学の学長(医学部長)、病院長が「JACME 認証評価について」、「大阪の専攻医のシーリングについて」、「宿日直許可の取得状況について」、「特定機能病院の基本的基準の中の地域医療への人的協力について」を議題として、情報交換を行った。

○ 医師国家試験

1. 本学の状況

区分		新卒			既卒			計		
本年度		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
		99	96	97.0%	1	1	100%	100	97	97.0%
(参考)	2024 年度	109	108	99.1%	1	1	100%	110	109	99.1%
	2023 年度	111	110	99.1%	3	3	100%	114	113	99.1%

2. 全国の状況(合格率)

私立・全国別	新卒・既卒別	新卒	既卒	計
私立平均		94.6%	63.5%	92.5%
全国平均		94.7%	54.6%	91.6%

○ 2025 年度 医学部進級(卒業)認定数等

学年次	学生数	進級(卒業)	留年	退学	除籍
1	126	110	13	3	0
2	116	112	2	2	0
3	122	115	6	1	0
4	118	116	2	0	0
5	118	111	7	0	0
6	102	99	3	0	0
計	702	663	33	6	0

※第1学年次退学者数は年度途中退学者を含む。

(参考)年度別 留年・退学等状況 (2019~2025 年度)

年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
学生数	704	699	705	705	703	702	702
留年	41	50	54	60	54	45	33
退学	6	5	4	3	2	2	6
除籍	0	0	0	0	0	0	0
進級(卒業)率	93.3%	92.1%	91.8%	91.1%	92.0%	93.3%	94.4%

○ 医学部学生数（2026年4月5日現在）

1 学年次	2 学年次	3 学年次	4 学年次	5 学年次	6 学年次	合計
125	112	118	117	123	114	709

○ 2026 年度 医学部入学試験

区 分	募集人員	出願者数	第 1 次試験 合格者数	合格者数	入学者数
総合型選抜(卒業生子女枠)	3	30	—	3	3
総合型選抜(一般枠)	5	113	—	9	9
総合型選抜(国際バカロレア枠)	2	4	—	0	0
エキスパート養成入試(総合型選抜)	3	53	—	3	3
学校推薦型選抜(特別選抜)	3	3	—	3	3
学校推薦型選抜(一般公募制)	12	103	—	17	17
学校推薦型選抜(地域指定制)	5	41	—	5	5
一般選抜(A4 科目型)	69	2290	381	192	62
一般選抜(B 英語資格試験活用型)	10	516	90	16	10
合 計	112	3153	471	248	112

○ 2026 年度 大学院医学研究科入学試験

(1) 前期募集

区分	人数	内 訳				
		医 科 学 専 攻				
		器官・代謝制 御系	高次神経 制御系	生体応答 制御系	生体再生 制御系	環境病態 制御系
出願者	5	4	0	0	0	1
受験者	5	4	0	0	0	1
合格者	5	4	0	0	0	1
入学者	5	4	0	0	0	1

(2) 後期募集

区分	人数	内 訳				
		医 学 専 攻				
		器官・代謝制御系	高次神経制御系	生体応答制御系	生体再生制御系	環境病態制御系
出願者	32	8	9	9	0	6
受験者	31	8	8	9	0	6
合格者	31	8	8	9	0	6
入学者	31	8	8	9	0	6

○ 大学院医学研究科学生数（2026年4月1日現在）

分野	1年	2年	3年	4年	合計
医科学専攻	40	44	37	71	192
合計	40	44	37	71	192

	専 攻	学 年	学 生 数	内 訳	
				昼間履修	夜間履修
医 科 学 専 攻	器官・代謝制御系	1	12	1	11
		2	17	1	16
		3	11	3	8
		4	21	3	18
	高次神経制御系	1	8	2	6
		2	17	3	14
		3	17	2	15
		4	31	1	30
	生体応答制御系	1	12	2	10
		2	5	2	3
		3	4	0	4
		4	14	2	12
	生体再生制御系	1	0	0	0
		2	0	0	0
		3	1	0	1
		4	0	0	0
	環境病態制御系	1	8	0	8
		2	5	0	5
		3	4	0	4
		4	5	0	5
			192	22	170

※先端医学専攻については2025年4月1日より廃止。

○ 学位の授与

甲 号(31名)、乙 号(4名)
学位授与累計 甲 1121号 乙 455号

○ 研究費

1. 2025 年度 科学研究費助成事業

(単位:円)

研究種目名	件数			総交付額	
		直接経費	間接経費		
基盤研究(A)(※)	1	11,700,000	3,510,000	15,210,000	
基盤研究(B)	12	55,000,000	16,500,000	71,500,000	
基盤研究(C)	113	127,557,166	38,147,150	165,704,316	
挑戦的研究(萌芽)	2	3,300,000	990,000	4,290,000	
若手研究	34	36,600,000	10,980,000	47,580,000	
研究活動スタート支援	5	5,300,000	1,590,000	6,890,000	
奨励研究	4	1,530,000	0	1,530,000	
合計	171	240,987,166	71,717,150	312,704,316	
(参考)	2024 年度	151	190,126,780	56,669,034	246,795,814
	2023 年度	149	189,310,000	56,175,000	245,485,000

※2024/12/1 転入時受入れ額

2. 2025 年度 厚生労働科学研究費

(単位:円)

研究事業名	件数			総交付額	
		直接経費	間接経費		
エイズ対策政策研究事業	1	8,000,000	2,400,000	10,400,000	
(参考)	2024 年度	1	8,200,000	2,460,000	10,660,000
	2023 年度	1	8,200,000	2,460,000	10,660,000

3. 2025 年度 厚生労働省 労災疾病臨床研究補助金

(単位:円)

研究事業名	件数			総交付額	
		直接経費	間接経費		
労災疾病臨床研究事業	0	0	0	0	
(参考)	2024 年度	1	86,932,000	26,079,000	113,011,000
	2023 年度	0	—	—	—

4. 2025 年度 日本医療研究開発機構 (AMED) 研究費

(単位:円)

研究事業名	件数			総交付額	
		直接経費	間接経費		
橋渡し研究プログラム シーズ Cb	1	100,000,000	30,000,000	130,000,000	
医療機器等研究成果展開事業	1	20,000,000	6,000,000	26,000,000	
難治性疾患実用化研究事業	1	20,000,000	6,000,000	26,000,000	
研究倫理・社会共創推進プログラム	1	4,500,000	1,350,000	5,850,000	
再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム	1	13,000,000	3,900,000	16,900,000	
合計	5	157,500,000	47,250,000	204,750,000	
(参考)	2024 年度	5	133,545,455	39,154,545	172,700,000
	2023 年度	5	156,902,099	44,597,901	201,500,000

5. 2025 年度 PFAS に関する総合研究費

(単位:円)

研究事業名	件数			総交付額	
		直接経費	一般管理費		
PFAS に関する総合研究	1	26,086,961	3,913,039	30,000,000	
(参考)	2024 年度	1	26,967,393	3,032,607	30,000,000

○ 補助金等

1. 2025 年度エコチル調査委託事業精算金(環境省)

(単位:円)

環境省委託事業名	件数			総交付額	
		直接経費	一般管理費		
エコチル調査	1	97,033,348	14,010,474	111,043,822	
(参考)	2024 年度合計	1	90,176,087	13,498,541	103,674,628
	2023 年度合計	1	87,067,806	13,032,311	100,100,117

2. 2025 年度次世代のがんプロフェッショナル養成プラン補助金分配金(文部科学省)

(単位:円)

研究事業名	件数			本学分配額	
		各部署配分額	事務経費		
次世代のがんプロフェッショナル養成プラン	1	6,365,014	1,110,986	7,476,000	
(参考)	2024 年度合計	1	6,447,288	1,122,712	7,570,000
	2023 年度合計	1	5,288,906	2,560,094	7,849,000

3.2. 神戸キャンパス

○ 一般社団法人 リハビリテーション教育評価機構(JCORE)による認証評価

兵庫医科大学リハビリテーション学部理学療法学科及び作業療法学科は、一般社団法人 リハビリテーション教育評価機構(JCORE)による分野別認証評価を受け、2025年12月5日(金)に作業療法学科、12月10日(水)に理学療法学科の実地調査がそれぞれ行われ、2026年3月に同評価機構が定める「リハビリテーション教育評価 評価基準」に適合していると認定された。認定期間は、2026年4月～2031年3月までの5年間である。

○ 2025年度 第49回兵庫医科大学 卒業式・学位授与式の開催

2026年3月12日(木)にポートピアホールにて卒業式・学位授与式を執り行った。今年度より医学部・医学研究科を加えた4学部・4研究科合同による卒業式・学位授与式を執り行った。

○ 神戸キャンパスにおける地震・津波による発災後72時間以内の避難行動・行動指針の策定

巨大地震や津波が発生した際に、主要会議やイベント等で副学長、学部長等が不在であっても、発災時に神戸キャンパスで従事している教職員において、学生・教職員の生命を守り、被害を最小限に抑える必要があるため、発災直後から72時間にわたる具体的な行動計画・行動指針を新たに策定した。

○ その他の活動

1. 新たな志願者確保のための募集活動強化ならびに高大連携に係る活動強化(神戸 C)

- ・ 高校生の SNS 活用に関して、Instagram の利用率が高いことから、アドミッションセンター公式の Instagram を開設し、主に 4 学部全体に関する内容や入試、イベントに関する内容を発信した。また、神戸 3 学部の学生からアドバイザーを選出し、定期的な会議を開催し、学生から SNS 活用に関するアドバイスを受けた。
- ・ 受験生サイトの内容を充実させる為に受験生サイト用のショート動画を作成し、10 月から運用を開始した。
- ・ オープンキャンパス(6 月、8 月)への来場促進の為に今年度から入試対策講座を来学型とし、年内入試志向が強いことから学校推薦型選抜を含めた内容で実施した。
- ・ 6 月オープンキャンパスでは高校 3 年生の来場が多いことから、入試ガイダンスは総合型選抜の説明に重点を置いて実施した。
- ・ 2026 年度に竣工する新病院棟に関する内容の展示や学部横断企画としてクイズラリーを実施した。(オープンキャンパスの参加者(学生のみ)実績 2025 年度:1,727 名、2024 年度:1,719 名、2023 年度 1,763 名)
- ・ 神戸キャンパスを会場として、阪神地区公立学校長会の開催依頼(連携校の校長からの依頼)があり、高大連携の一環として対応し、本学の説明及びキャンパス見学を実施した。
- ・ 7 月 21 日(月・祝)に高大連携校を対象に高大連携イベントとして職業理解プログラム、大学教育プログラム、授業体験、キャンパス見学の内容で実施した。(参加者実績 2025 年度:228 名、2024 年度:135 名、2023 年度:138 名)
- ・ 兵庫医科大学病院見学会を 12 月と 3 月に実施した。(参加者実績 12 月:6 校 11 名、3 月:11 校 22 名)
- ・ 3 月 20 日(金・祝)に探究活動研究発表会を実施し、今年度は午前一般演題、午後入賞演題を発表する 2 部形式として、規模を拡大して実施した。30 組の応募のうち、一般演題として 15 組、優秀演題として 8 組の発表があり、発表会には 102 名の参加があった。

国家試験

第 111 回 薬剤師国家試験

区分	6 年制新卒			6 年制既卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本学	66	56	84.9	96	43	44.8
本学(2024年度)	66	55	83.3	108	51	47.2
本学(2023年度)	77	65	84.4	106	51	48.1
全国	7,781	6,711	86.3	4,871	2,013	41.3

第 115 回 看護師国家試験

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本学	107	105	98.1	1	1	100.0
本学(2024年度)	108	108	100.0	2	2	100.0
本学(2023年度)	101	99	98.0	1	1	100.0
全国	54,036	50,862	94.1	5,578	1,804	32.3

第 112 回 保健師国家試験

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本学	24	21	87.5			
本学(2024年度)	23	22	95.7			
本学(2023年度)	28	28	100.0			
全国	7,109	6,392	89.9	358	110	30.7

第 109 回 助産師国家試験

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本学	4	4	100.0			
本学(2024年度)	6	6	100.0			
本学(2023年度)	6	6	100.0			
全国	2,018	2,014	99.8	28	26	92.9

第 61 回 理学療法士国家試験

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本学	45	45	100.0			
本学(2024年度)	47	47	100.0			
本学(2023年度)	41	41	100.0			
全国	11,366	10,782	94.9	1,070	374	35.0

第 61 回 作業療法士国家試験

区分	新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本学	38	38	100.0	1	1	100.0
本学(2024年度)	40	39	97.5	1	0	0.0
本学(2023年度)	44	43	97.7	1	1	100.0
全国	4,801	4,636	96.6	625	311	49.8

○ 進級認定数(2026 年 3 月 31 日現在)

学部・学科	学年	学生数	進級 (卒業)	留年	退学	除籍
薬学部 医療薬学科	1	124	105	7	12	0
	2	132	104	15	12	1
	3	133	116	11	6	0
	4	99	85	9	5	0
	5	80	80	0	0	0
	6	136	(105) ※1	31	0	0
看護学部 看護学科	1	119	116	0	3	0
	2	104	102	2	0	0
	3	125	121	2	2	0
	4	109	(109) ※2	0	0	0
リハビリテーション学部 理学療法学科	1	47	47	0	0	0
	2	43	38	1	4	0
	3	46	45	1	0	0
	4	46	(46)	0	0	0
リハビリテーション学部 作業療法学科	1	32	32	0	0	0
	2	46	40	4	2	0
	3	33	33	0	0	0
	4	39	(38)	1	0	0
合計		1,493	1,064 (298)	84	46	1

※1：秋季卒業生数 38 名を含む。

※2：秋季卒業生数 1 名を含む。

○ 学部学生数(2026 年 4 月 1 日現在)

学部	学科	第1学 年次	第2学 年次	第3学 年次	第4学 年次	第5学 年次	第6学 年次	合計
薬学部	医療薬学科	116	120	115	125	85	111	672
看護学部	看護学科	106	118	104	121			449
リハビリ テーション 学部	理学療法学科	46	48	39	45			178
	作業療法学科	47	36	40	34			157
合計		315	322	298	325	85	111	1,456

○ 大学院生数(2026年4月1日現在)

薬学 研究科	博士課程	研究指導科目分野	1年	2年	3年	4年
		臨床ゲノム薬理・分子薬物動態学	0	0	1	0
		物理薬科学	0	—	—	—
		応用医療薬学	2	0	1	0
		レドックス生物学・免疫制御学	0	0	0	0
		神経病態制御学	0	0	0	0
		天然物合成化学	0	—	—	—
		臨床医薬品化学	1	0	2	4
		微生物学	0	0	0	0
		呼吸器疾患病態治療学	0	0	0	1
		合計	3	0	4	5

看護学 研究科	博士前期課程	分野	特定分野	1年	2年
		基盤看護学	基礎看護学	0	1
			看護教育学	0	0
			看護管理学	1	—
		療養支援看護学	急性看護学	0	3
			がん看護学	0	2
			慢性看護学	2	4
			精神看護学	1	0
		家族支援看護学	小児看護学	0	0
			母性看護学	1	1
			助産学	0	2
		生活支援看護学	老年看護学	1	0
			地域看護学	0	0
			在宅看護学	0	2
		合計		6	15
	博士後期課程	分野	1年	2年	3年
		看護実践開発科学	2	4	—
		合計	2	4	—

リハビリテーション科学研究科	修士課程	分野	特定分野	1年	2年	
		病態運動学	運動器障害	3	2	
			内部障害	3	4	
			神経障害	6	3	
		人間活動科学	身体・認知活動	2	0	
	精神活動		0	2		
	合計			14	11	
	博士後期課程	分野		1年	2年	3年
		リハビリテーション科学		3	6	—
		合計		3	6	—

○ 2026年度各学部入学試験

1. 薬学部

区分		募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
総合型選抜	一般枠	6	2	2	2	2
	探究評価枠	2	1	1	1	1
	卒業生子女枠	2	0	0	0	0
学校推薦型選抜	指定校制	11	10	10	10	10
	特別選抜	3	0	0	0	0
	(一般公募制)専願前期日程	15	15	13	12	12
	(一般公募制)専願後期日程	3	3	3	2	2
	(一般公募制)併願A日程	15	52	51	48	20
	(一般公募制)併願B日程	15	29	26	19	6
	(一般公募制)併願C日程	8	11	9	8	6
一般選抜	前期A日程	30	63	62	54	21
	前期B日程	20	35	33	28	6
	中期日程	10	21	18	17	12
	後期日程	4	14	12	11	7
大学入学共通テスト 利用入学試験	前期日程	4	54	52	50	4
	後期日程	2	5	5	5	0
合計		150	315	297	267	109

2. 看護学部

区分		募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
総合型選抜	一般枠	7	50	50	12	12
	探究評価枠	2	10	10	3	3
	卒業生子女枠	2	1	1	0	0
学校推薦型選抜	特別選抜	2	0	0	0	0
	(一般公募制)専願前期日程	18	77	77	29	29
	(一般公募制)併願A日程	5	113	111	34	13
	(一般公募制)併願B日程	15	183	180	65	20
一般選抜	前期A日程	24	147	141	26	9
	前期B日程	15	203	200	24	10
	後期日程	4	45	44	11	10
大学入学共通テスト 利用入学試験	前期日程	4	65	63	14	0
	後期日程	2	11	11	2	0
合計		100	905	888	220	106

3. リハビリテーション学部

(1) 理学療法学科

区分		募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
総合型選抜	一般枠	5	33	33	6	6
	探究評価枠	2	3	3	2	2
	卒業生子女枠	1	0	0	0	0
学校推薦型選抜	指定校制	2	1	1	1	1
	特別選抜	1	0	0	0	0
	(一般公募制)専願前期日程	10	43	43	15	15
	(一般公募制)併願B日程	4	84	83	15	7
一般選抜	前期A日程	7	62	62	13	4
	前期B日程	4	76	72	15	8
	後期日程	若干名	18	18	1	1
大学入学共通テスト 利用入学試験	前期日程	2	43	42	10	1
	後期日程	若干名	7	7	1	1
合計		40	370	364	79	46

(2) 作業療法学科

区分		募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
総合型選抜	一般枠	4	7	7	7	7
	探究評価枠	2	5	5	5	5
	卒業生子女枠	1	0	0	0	0
学校推薦型選抜	指定校制	2	3	3	3	3
	特別選抜	1	0	0	0	0
	(一般公募制)専願前期日程	11	9	9	8	8
	(一般公募制)併願B日程	6	25	25	24	11
一般選抜	前期A日程	5	18	18	15	6
	前期B日程	5	17	16	14	5
	後期日程	若干名	2	2	2	2
大学入学共通テスト 利用入学試験	前期日程	若干名	11	11	8	0
	後期日程	若干名	2	2	1	0
合計		40	99	98	87	47

○ 2026年度 大学院入学試験

研究科名		区分	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
薬学研究科	博士課程	I期	3	2	2	2	2
		II期	若干名	1	1	1	1
看護学研究科	博士前期課程	I期	8	5	5	3	3
		II期	若干名	3	3	3	3
	博士後期課程	I期	2	2	2	1	1
		II期	若干名	1	1	1	1
リハビリテーション 科学研究科	修士課程	I期	8	23	22	14	14
	博士後期課程	I期	2	6	6	3	3

○ 研究費

1. 2025 年度科学研究費助成事業獲得実績

(単位:千円)

研究種目名	件数	直接経費	間接経費	交付額	
基盤研究(B)	3	10,900	3,270	14,170	
基盤研究(C)	38	35,400	10,620	46,020	
若手研究	12	8,400	2,520	10,920	
研究活動スタート支援	1	1,200	360	1,560	
奨励研究	1	380	0	380	
合計	55	56,280	16,770	73,050	
(参考)	2024 年度合計	56	58,900	17,670	76,570
	2023 年度合計	44	42,500	12,750	55,250

○ 2025 年度就職状況

学部	薬学部	看護学部	リハビリテーション学部		
学科	医療薬学科	看護学科	理学療法学科	作業療法学科	
卒業者数 ^{※1}	105	109	46	38	
内訳	就職者数	73	106	45	38
	進学者数	0	0	1	0
	その他 ^{※2}	32	3	0	0

※1 2025 年度秋季卒業生を含む。

※2 国家試験や就職に向けて準備中または不明の者

4. 病院 西宮キャンパス

○ オンライン紹介予約対応診療科を拡大

2024 年度に開始したオンライン紹介予約は 2025 年度に 3 診療科(アレルギー・リウマチ内科、眼科、脳神経内科)を追加し、2026 年 3 月 31 日現在で 20 診療科が対応している。(開始時は 17 診療科(循環器内科、血液内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、消化管内科、呼吸器内科、腎・透析内科、皮膚科、上部消化管外科、下部消化管外科、炎症性腸疾患外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、形成外科、歯科口腔外科、中皮腫センター、肥満症センター))利用登録医療機関は前年度から 150 件以上増加し、同日現在で 437 件となっている。オンライン紹介予約件数も増加しており、2025 年度のオンライン紹介予約利用率 7.9%となっている。

○ 「兵庫医科大学病院ペイシエントハラスメントに対する基本方針」を策定

「兵庫医科大学病院ペイシエントハラスメントに対する基本方針」を策定した。当院においてもペイシエントハラスメントが発生しており、パワハラ防止法施行や厚労省からの「カスタマーハラスメント対策企業マニュアル」の公開を受け、病院職員を守るためにもそれらの行為への対策が必要との認識から策定されたもので、外来や病棟、ホームページに掲示している。

現在は本方針に基づき、現状の事例を参考にした対策マニュアルの策定や院内の体制整備等を進めている。

○ 看護人材開発センターの設置と人材育成に向けた取り組み

2025 年 4 月 1 日、兵庫医科大学看護学部と兵庫医科大学病院看護部が協働して、急性期から地域医療まで多様な医療ニーズに応える質の高い看護専門職者としてのキャリアを開発し、それらを実践する人材を兵庫医科大学病院に確保するため、臨床教育統括センターの下に看護人材開発センターを設置した。センター構成員による実務者会議において活動指標を策定し、1 年目交流会、2 年目交流会、ホームカミングデー、ふらっと先生便(出張相談会)等のイベント開催、看護学部における「兵庫医科大学病院 特別推薦枠制度」の導入等の活動を行った。

○ 医師事務作業補助者の拡充と医療 DX 推進により医師の業務負担を軽減

2025 年 10 月より医師事務作業補助者を 10 名以上増員した。うち半数は診療科に配属し直接的な支援、残る半数は文書作成等業務に従事し全体的な後方支援を行っている。

医療 DX においては、カルテ原稿自動作成システム「medimo」を 2025 年 5 月より試験導入、10 月より本格導入し、インフォームドコンセントにおける医師の負担軽減で一定の成果を挙げている。

また、2025 年 12 月より説明動画作成システム「Gakken メディカルクリップ」を導入した。患者説明における画一化・省力化を図るとともに、院内研修等での利用も期待できる。

○ 補助金等

(単位:円)

年度		金額
2025 年度合計		393,357,061
(参考)	2024 年度合計	389,223,600
	2023 年度合計	1,099,684,400

○ 患者数実績

			対前年度
入院患者数	延患者数(在院+退院)	295,243 人	100.3%
	一日平均	808.9 人	100.3%
	平均在院日数(一般)	11.5 日	-0.2 日
	平均在院日数(全体)	11.8 日	-0.1 日
外来患者数	延患者数	611,524 人	99.2%
	一日平均	2485.9 人	103.6%

5. 篠山キャンパス

○ 病床数適正化支援事業への申請

兵庫医科大学ささやま医療センターは、厚生労働省の令和7年度医療施設等経営強化支援事業における、効率的な医療提供体制の確保を図るため実施された「病床数適正化支援事業」の方針に対し、許可病床数180床のうち、3階西病棟(42床)の削減を行い、兵庫県により支援金対象削減病床(34床)として認められた。

○ 補助金等

(単位:円)

年 度		金 額
2025 年度合計		329,576,104
(参考)	2024 年度合計	198,254,762
	2023 年度合計	461,362,614

○ 患者数実績

1. ささやま医療センター

			対前年度
入院患者数	延患者数(在院+退院)	28,061 人	70.4%
	1日平均	76.9 人	70.4%
	平均在院日数(一般)	13.7 日	-1.2 日
	平均在院日数(回復期リハ)	43.1 日	-13.3 日
外来患者数	延患者数	35,021 人	70.8%
	1日平均	144.7 人	71.0%

※外来患者数には入院中外来患者を含む。

2. 老人保健施設

			対前年度
入所利用者数	延利用者数(長期+短期)	34,051 人	96.7%
	1日平均(全体)	93.3 人	96.8%
	平均利用日数(長期)	196.0 日	-4.8 日
	平均利用日数(短期)	5.0 日	-1.8 日
通所利用者数	延利用者数	6,999 人	62.3%
	1日平均	31.0 人	69.5%

3. 居宅サービスセンター

			対前年度
訪問看護	利用者数	1,093 人	86.3%
	訪問回数	5,602 回	84.6%
訪問介護	利用者数	115 人	60.8%
	訪問回数	665 回	50.3%
定期巡回	利用者数	84 人	60.9%
	介護訪問回数	3,420 回	64.6%
	看護訪問回数	142 回	58.7%
居宅介護支援	件数	1,596 件	76.4%

6. 梅田キャンパス

○ 人間ドック健診者の1日平均が22.9名に

移転開設後、着実に健診者数を伸ばすことができ、年間6,074人、1日平均は22.9人という結果になった。男女比、年齢比については前年度とほぼ同等と言えるが、大阪府下の健診者数が増加傾向である。

○ 内視鏡検査件数が年間7,000件を突破

ニーズの高い内視鏡検査(胃カメラ、大腸カメラ)については医師を中心とした最大限の受け入れ体制を整えることで、保険診療と自費診療(人間ドック、健康診断)をあわせ、前年度の実績も大きく上回る7,119件の検査を実施した。

○ 患者数実績

		2023年度	2024年度	2025年度	対前年度
人間ドック健診者数	延健診者数	4,747人	5,321人	6,074人	114.2%
	一日平均	16.3人	19.9人	22.9人	115.1%
生活習慣病予防健診者数	延健診者数	1,294人	1,556人	2,204人	141.6%
	一日平均	4.4人	5.8人	8.3人	143.1%
企業健診者数	延健診者数	2,835人	3,422人	2,572人	75.2%
	一日平均	9.7人	12.8人	9.7人	75.8%
クリニック患者数	延患者数	11,628人	16,741人	19,097人	114.1%
	一日平均	41.5人	62.7人	72.1人	115.0%

Ⅲ 財務の概要 —2025 年度決算について—

1. 概要

2025 年度は、新病院棟建設や持続的な投資を可能とする財務基盤の強化を目指し、期初予算では 2,168 百万円の基本金組入前当年度収支差額を計上したが、その後、学校法人会計基準の改正及び建設資金の借入れの早期化に伴って補正予算を編成し、同収支差額を 655 百万円に修正した。事業環境としては、不安定な国際情勢や円安進行などによる物価高騰、医療収入の減少など複数のマイナス要因が重なったが、業務運営の効率化や経費コントロールを一層強化した結果、経常収支差額は前年比 383 百万円減の 2,254 百万円を確保した。一方、基本金組入前当年度収支差額は、特別支出に多額の費用を計上した影響により、前年度比 5,949 百万円減の▲3,219 百万円となった。

2. 事業活動収支計算書(表 1・2 及びグラフ)

<教育活動収支>

① 教育活動収入

教育活動収入は前年度比 870 百万円の減収の 60,972 百万円となった。

学生納付金は、薬学部の学生数減などの影響で前年度比 37 百万円減収となった。また、教育活動収入の大半を占める医療収入は 1,672 百万円減の 47,549 百万円で、これは西宮本院で病床稼働率が概ね維持できたものの、外来の患者数減少・単価下落により前年度比 1,076 百万円減、加えて事業譲渡予定のささやま医療センター・老健施設で地域包括病棟の休床、外来患者・通所利用の減少などにより同 682 百万円減となったことによるものである。

一方、寄付金は大口の株式現物寄付により前年度比 427 百万円増の 960 百万円となった。また、経常費等補助金は、国の修学支援制度の拡大、大学改革推進や病床数適正化関連の補助金の交付により前年度比 353 百万円増加し 2,755 百万円となった。

② 教育活動支出

教育活動支出は前年度比 593 百万円の減少の 58,907 百万円となった。

人件費は、職員人件費が増加したものの教員人件費や退職給付関連の費用が減少したため、前年度比 79 百万円減の 23,746 百万円となった。

教育研究経費は、損害保険料、減価償却額などが減少したものの、奨学費、雑費、業務委託費などが増加したため、前年度比 173 百万円増の 5,079 百万円となった。

また、医療経費は、物価高騰の影響による医療用消耗品費、医療材料費、業務委託費などが増加したものの減価償却費、薬品費、修繕費等の減少によって、前年度比 609 百万円減の 28,756 百万円となった。

この結果、医療収支差額は前年度比 1,063 百万円悪化し 18,793 百万円となった。

<教育活動外収支>

教育活動外収支は、有価証券の積み増しや運用利回り向上により受取利息・配当金収入が増加したものの、新病院棟建設に伴う資金調達により借入金利息が増加したため、前年度比 105 百万円減の 188 百万円となった。

<特別収支>

施設設備に係る補助金などが増加したものの、現物寄付株式の強制評価減、学校法人会計基準改正に伴う賞与引当金特別繰入及び篠山キャンパスの経営移譲に伴う事業譲渡損失引当金を計上したことにより、特別収支は前年度比 5,566 百万円減の▲5,473 百万円となった。

3. 資金収支計算書(表 3)

資金収支については、新病院棟建設に伴う借入金収入が前年度比 10,697 百万円増加したものの、建設仮勘定支出が前年度比 18,800 百万円増加したため、翌年度繰越支払資金(現金預金)は、2024 年度末 14,686 百万円より 2,062 百万円減少し、12,624 百万円となった。

4. 貸借対照表(表 4)

2025 年度末の純資産(資産－負債)は、大幅な赤字決算を背景に前年度末比 3,219 百万円減の 89,183 百万円となった。

資産の部は、第 3 号基本金引当特定資産(現物寄付株式)の評価減や建物・機器等の減価償却が進んだ一方で、新病院棟建設に伴う建設仮勘定の増加によって、前年度比 20,671 百万円増加し 148,638 百万円となった。

負債の部は、新病院棟建設に伴う借入金増加により、前年度比 23,890 百万円増の 59,455 百万円となった。

なお、2025 年度末の総保有資金残高は、前年度比 1,588 百万円減の 46,111 百万円となった。

5. 主要財務比率の推移(表 5)

表 5 にて財務比率の推移を表している。比率の意味、主な留意点等を表の次頁に記載している。

6. キャッシュ・フローの推移(表 6)

「教育研究活動」「施設等整備活動」「財務活動」の活動区分ごとのキャッシュ・フローの推移を表している。それぞれのキャッシュ・フロー計算書は、他の会計基準とほぼ同様の区分等の手法を採用して作成している。

表1

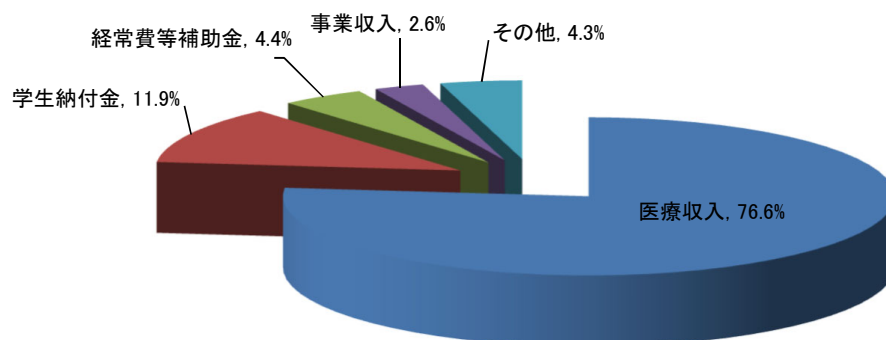
2025年度事業活動収支計算書

(単位:円)

事業活動収入の部			事業活動支出の部		
科目	金額	比率(%)	科目	金額	比率(%)
学生納付金	7,364,249,730	11.9%	人件費	23,746,337,196	36.4%
寄付金	960,381,748	1.5%	教育研究経費	5,078,771,181	7.8%
経常費等補助金	2,754,801,864	4.4%	医療経費	28,756,063,997	44.1%
事業収入	1,630,248,983	2.6%	管理経費	1,323,372,060	2.0%
医療収入	47,549,257,493	76.6%	その他	2,229,742	0.0%
その他	713,472,273	1.1%			
教育活動収入計	60,972,412,091		教育活動支出計	58,906,774,176	
受取利息・配当金等	452,536,823	0.7%	借入金等利息	264,281,379	0.4%
教育活動外収入計	452,536,823		教育活動外支出	264,281,379	
資産売却差額	3,735,997	0.0%	資産処分差額等	6,094,504,538	9.3%
その他の特別収入	617,435,890	1.0%			
特別収入計	621,171,887		特別支出計	6,094,504,538	
事業活動収入計	62,046,120,801	100.0%	事業活動支出計	65,265,560,093	100.0%
基本金組入額	△ 28,492,920,998		基本金組入前当年度収支差額	△ 3,219,439,292	
			当年度収支差額	△ 31,712,360,290	

2025年度決算構成比率

【事業活動収入の部】



【事業活動支出の部】

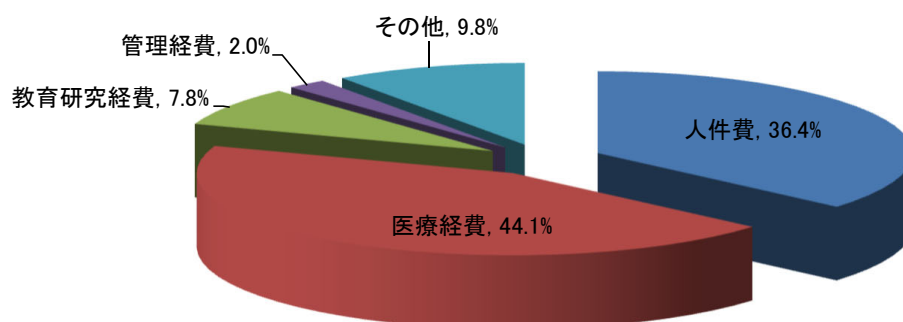


表2

事業活動収支計算書

2025年 4月 1日から
2026年 3月 31日まで

(単位:円)

事業活動収入の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
学 生 納 付 金	7,127,580,000	7,100,660,000	26,920,000	
手 数 料	239,610,760	263,589,730	△ 23,978,970	
寄 付 金	595,406,680	960,381,748	△ 364,975,068	
経 常 費 等 補 助 金	2,144,781,000	2,754,801,864	△ 610,020,864	
国庫補助金	1,852,244,000	2,243,312,700	△ 391,068,700	
地方公共団体補助金	292,537,000	511,489,164	△ 218,952,164	
付 随 事 業 収 入	51,106,663,479	49,179,506,476	1,927,157,003	
事 業 収 入	1,491,664,479	1,630,248,983	△ 138,584,504	
医 療 収 入	49,614,999,000	47,549,257,493	2,065,741,507	
雑 収 入	741,289,057	713,472,273	27,816,784	
教 育 活 動 収 入 計	61,955,330,976	60,972,412,091	982,918,885	
受 取 利 息 ・ 配 当 金	290,177,000	452,536,823	△ 162,359,823	
そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	0	0	0	
教 育 活 動 外 収 入 計	290,177,000	452,536,823	△ 162,359,823	
資 産 売 却 差 額	2,898,000	3,735,997	△ 837,997	
そ の 他 の 特 別 収 入	68,100,899	617,435,890	△ 549,334,991	
特 別 収 入 計	70,998,899	621,171,887	△ 550,172,988	
事 業 活 動 収 入 の 部 合 計	62,316,506,875	62,046,120,801	270,386,074	
事業活動支出の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
人 件 費	23,848,768,297	23,746,337,196	102,431,101	
教 職 員 等 人 件 費	22,980,606,297	21,545,686,347	1,434,919,950	
退 職 給 与 引 当 金 繰 入 額	806,894,000	856,504,896	△ 49,610,896	
退 職 金	61,268,000	72,948,300	△ 11,680,300	
賞 与 引 当 金 繰 入 額	0	1,271,197,653	△ 1,271,197,653	
教 育 研 究 経 費	5,295,227,698	5,078,771,181	216,456,517	
医 療 経 費	29,360,799,610	28,756,063,997	604,735,613	
管 理 経 費	1,426,180,986	1,323,372,060	102,808,926	
徴 収 不 能 額 等	0	2,229,742	△ 2,229,742	
教 育 活 動 支 出 計	59,930,976,591	58,906,774,176	1,024,202,415	
借 入 金 等 利 息	32,361,000	264,281,379	△ 231,920,379	
そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	0	0	0	
教 育 活 動 外 支 出 計	32,361,000	264,281,379	△ 231,920,379	
資 産 処 分 差 額	51,658,000	2,686,342,132	△ 2,634,684,132	
そ の 他 の 特 別 支 出	1,487,328,037	3,408,162,406	△ 1,920,834,369	
特 別 支 出 計	1,538,986,037	6,094,504,538	△ 4,555,518,501	
[予 備 費]	[40,991,220]		159,008,780	
	159,008,780			
事 業 活 動 支 出 の 部 合 計	61,661,332,408	65,265,560,093	△ 3,604,227,685	
基 本 金 組 入 前 当 年 度 収 支 差 額	655,174,467	△ 3,219,439,292	3,874,613,759	
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 5,013,650,000	△ 28,492,920,998	23,479,270,998	
当 年 度 収 支 差 額	△ 4,358,475,533	△ 31,712,360,290	27,353,884,757	
前 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 43,152,305,429	△ 43,152,305,429	0	
基 本 金 取 崩 額	0	2,244,550,000	△ 2,244,550,000	
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 47,510,780,962	△ 72,620,115,719	25,109,334,757	

(参考)

事業活動収入計	62,316,506,875	62,046,120,801	270,386,074
事業活動支出計	61,661,332,408	65,265,560,093	△ 3,604,227,685

表3

資金収支計算書

2025年 4月 1日から
2026年 3月 31日まで

(単位:円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 納 付 金 収 入	7,127,580,000	7,100,660,000	26,920,000
手 数 料 収 入	239,610,760	263,589,730	△ 23,978,970
寄 付 金 収 入	616,819,000	580,305,884	36,513,116
補 助 金 収 入	2,144,781,000	3,273,306,864	△ 1,128,525,864
国庫補助金収入	1,852,244,000	2,761,817,700	△ 909,573,700
地方公共団体補助金収入	292,537,000	511,489,164	△ 218,952,164
資 産 売 却 収 入	6,302,439,000	12,600,100,000	△ 6,297,661,000
付 随 事 業 ・ 収 益 事 業 収 入	51,106,663,479	49,179,506,476	1,927,157,003
事 業 収 入	1,491,664,479	1,630,248,983	△ 138,584,504
医 療 収 入	49,614,999,000	47,549,257,493	2,065,741,507
受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	290,177,000	452,536,823	△ 162,359,823
雑 収 入	741,289,057	701,457,167	39,831,890
借 入 金 等 収 入	20,235,865,000	20,895,010,172	△ 659,145,172
前 受 金 収 入	1,070,537,000	1,029,313,716	41,223,284
そ の 他 の 収 入	10,508,484,204	10,179,544,945	328,939,259
資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 12,186,937,026	△ 11,473,074,285	△ 713,862,741
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	14,686,461,764	14,686,461,764	
収 入 の 部 合 計	102,883,770,238	109,468,719,256	△ 6,584,949,018
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	23,655,616,297	23,922,241,784	△ 266,625,487
教職員等人件費支出	22,980,606,297	23,033,014,384	△ 52,408,087
退職金支出	675,010,000	889,227,400	△ 214,217,400
教 育 研 究 経 費 支 出	4,065,362,698	3,570,544,520	494,818,178
医 療 経 費 支 出	27,372,754,610	26,825,780,382	546,974,228
管 理 経 費 支 出	1,255,304,986	1,152,802,907	102,502,079
借 入 金 等 利 息 支 出	32,361,000	264,281,379	△ 231,920,379
借 入 金 等 返 済 支 出	784,898,000	746,665,046	38,232,954
施 設 関 係 支 出	26,982,639,000	26,321,274,700	661,364,300
設 備 関 係 支 出	1,851,287,130	1,305,402,388	545,884,742
資 産 運 用 支 出	0	13,087,820,000	△ 13,087,820,000
そ の 他 の 支 出	7,823,628,439	7,796,187,876	27,440,563
[予 備 費]	[45,807,350]		
	154,192,650		154,192,650
資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 7,894,771,284	△ 8,148,873,931	254,102,647
翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	16,800,496,712	12,624,592,205	4,175,904,507
支 出 の 部 合 計	102,883,770,238	109,468,719,256	△ 6,584,949,018

表4

貸借対照表

2026年 3月 31日

(単位:円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	103,712,364,476	87,246,324,322	16,466,040,154
有形固定資産	86,172,039,239	61,912,194,396	24,259,844,843
土地	15,581,449,731	15,581,449,731	0
建物・構築物	26,402,952,044	28,176,273,193	△ 1,773,321,149
教育研究用機器備品	6,012,205,731	6,251,239,142	△ 239,033,411
管理用機器備品	92,071,169	99,045,182	△ 6,974,013
図書	422,717,026	411,600,011	11,117,015
建設仮勘定	37,653,140,450	11,381,210,650	26,271,929,800
その他	7,503,088	11,376,487	△ 3,873,399
特定資産	7,037,340,000	9,281,890,000	△ 2,244,550,000
退職給与引当特定資産	1,000,000,000	1,000,000,000	0
教育施設設備等引当特定資産	200,000,000	200,000,000	0
第2号基本金引当特定資産	3,510,890,000	3,510,890,000	0
第3号基本金引当特定資産	2,326,450,000	4,571,000,000	△ 2,244,550,000
その他の固定資産	10,502,985,237	16,052,239,926	△ 5,549,254,689
その他	10,502,985,237	16,052,239,926	△ 5,549,254,689
流動資産	44,925,655,544	40,720,917,676	4,204,737,868
現金預金	12,624,592,205	14,686,461,764	△ 2,061,869,559
有価証券	21,185,010,000	15,114,300,000	6,070,710,000
その他	11,116,053,339	10,920,155,912	195,897,427
資産の部合計	148,638,020,020	127,967,241,998	20,670,778,022
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	44,229,747,430	25,890,787,291	18,338,960,139
長期借入金	34,487,796,000	16,031,044,000	18,456,752,000
退職給与引当金	7,711,205,914	7,670,980,118	40,225,796
長期未払金	206,668,716	234,395,173	△ 27,726,457
長期前受金	1,824,076,800	1,954,368,000	△ 130,291,200
流動負債	15,224,872,875	9,673,615,700	5,551,257,175
短期借入金	2,438,258,172	746,665,046	1,691,593,126
1年以内償還予定学校債	10,000,000	10,000,000	0
未払金	8,130,454,189	7,498,307,439	632,146,750
前受金	1,159,604,916	1,161,101,026	△ 1,496,110
賞与引当金	1,271,197,653	0	1,271,197,653
その他	2,215,357,945	257,542,189	1,957,815,756
負債の部合計	59,454,620,305	35,564,402,991	23,890,217,314
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	161,803,515,434	135,555,144,436	26,248,370,998
第1号基本金	151,412,175,434	123,702,254,436	27,709,920,998
第2号基本金	3,510,890,000	3,510,890,000	0
第3号基本金	2,326,450,000	4,571,000,000	△ 2,244,550,000
第4号基本金	4,554,000,000	3,771,000,000	783,000,000
繰越収支差額	△ 72,620,115,719	△ 43,152,305,429	△ 29,467,810,290
翌年度繰越収支差額	△ 72,620,115,719	△ 43,152,305,429	△ 29,467,810,290
純資産の部合計	89,183,399,715	92,402,839,007	△ 3,219,439,292
負債及び純資産の部合計	148,638,020,020	127,967,241,998	20,670,778,022

注記 減価償却額の累計額
基本金未組入額

71,133,898,686 円
6,057,782,097 円

表5

主要な財務比率の推移

貸借対照表関係財務比率

		2021	2022	2023	2024	2025
① 固定比率	固定資産／純資産(自己資金)	99.2%	94.1%	92.5%	94.4%	96.6%
② 固定長期適合率	固定資産／純資産(自己資金)＋固定負債	80.2%	77.5%	77.2%	73.8%	64.6%
③ 流動比率	流動資産／流動負債	299.5%	312.3%	340.5%	420.9%	295.1%
④ 総負債比率	総負債／総資産	26.4%	25.5%	23.8%	27.8%	40.0%
⑤ 退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産／退職給与引当金	13.7%	13.6%	13.5%	13.0%	13.0%
⑥ 基本金比率	基本金／基本金要組入額	96.4%	97.6%	99.1%	101.3%	99.9%

・ 純資産 = 基本金 + 繰越収支差額 (自己資金 = 基本金 + 消費収支超過額)

事業活動収支計算書関係財務比率

		2021	2022	2023	2024	2025
① 人件費比率	人件費／経常収入	38.3%	38.2%	37.6%	38.3%	38.7%
② 教育研究経費比率	教育研究経費／経常収入	8.2%	8.0%	7.8%	7.9%	8.3%
③ 医療経費比率	医療経費／経常収入	40.8%	43.3%	46.2%	47.2%	46.8%
④ 借入金等利息比率	借入金等利息／経常収入	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.4%
⑤ 基本金組入後収支比率	事業活動支出／(事業活動収入－基本金組入額)	94.3%	95.5%	99.8%	116.4%	194.5%
⑥ 学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金／経常収入	11.9%	11.7%	11.5%	11.5%	11.6%
⑦ 事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入	10.5%	6.5%	6.5%	4.4%	-5.2%

・ 経常収入 = 教育活動収入 + 教育活動外収入

財務数値(貸借対照表関係)

(単位:百万円)

	2021	2022	2023	2024	2025
1 固定資産	80,799	80,577	82,935	87,246	86,172
2 流動資産	29,860	34,370	34,738	40,721	44,926
3 純資産(自己資金)	81,481	85,598	89,673	92,403	89,183
4 固定負債	19,208	18,345	17,797	25,891	44,230
5 流動負債	9,970	11,005	10,202	9,674	15,225
6 総資産	110,659	114,948	117,672	127,967	148,638
7 総負債	29,178	29,350	27,999	35,564	59,455
8 退職給与引当特定資産	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
9 退職給与引当金	7,291	7,363	7,393	7,671	7,711
10 基本金	121,874	120,486	124,441	135,555	161,804
11 基本金要組入額	126,365	123,401	125,627	133,846	162,024

財務数値(事業活動支計算書関係)

	2021	2022	2023	2024	2025
1 人件費	23,924	24,086	23,594	23,826	23,746
2 教育研究経費	5,094	5,030	4,870	4,906	5,079
3 医療経費	25,519	27,296	28,993	29,365	28,756
4 借入金等利息	31	28	24	39	264
5 事業活動収入(帰属収入)	62,771	63,180	62,913	62,276	62,046
6 経常収入	62,493	63,027	62,768	62,175	61,425
7 事業活動収入－基本金組入額 (消費収入)	59,587	61,836	58,957	51,162	33,553
8 事業活動支出(消費支出)	56,177	59,063	58,838	59,546	65,266
9 学生生徒納付金収入	7,440	7,367	7,239	7,137	7,101

財務比率の説明

貸借対照表関係財務比率

- ① 固定比率 固定資産の純資産に対する割合で、土地、建物、施設等の固定資産にどの程度純資産が投下されているか、資金の調達源泉とその使途とを対比させる関係比率である。低い値がよい。
- ② 固定長期適合率 固定資産の、純資産と固定負債を合計した長期資金に対する割合である。低い値がよい。
- ③ 流動比率 流動負債に対する流動資産の割合。1年以内に償還しなければならない流動負債に対して、現金預金又は1年以内に現金化が可能な流動資産がどの程度用意されているかという資金流動性すなわち短期的な支払能力を判断する重要な指標の一つ。一般に金融機関等では、200%以上であれば優良とみなしており、100%を切っている場合には、流動負債を固定資産に投下していることが多く、資金繰りに窮しているとみることができる。したがって、高い値がよい。
- ④ 総負債比率 固定負債と流動負債を合計した負債総額の総資産に対する割合。この比率は、総資産に対する他人資金の比重を評価する極めて重要な関係比率である。低い値がよい。
- ⑤ 退職給与引当特定資産保有率 固定負債の中の退職給与引当金と、その他の固定資産の中の退職給与引当特定資産との関係比率である。高い値がよい。
- ⑥ 基本金比率 基本金組入対象資産額である要組入額に対する組入済基本金の割合。この比率の上限は100%であり、100%に近いほど未組入額が少ないことを示している。100%に近づくほうが望ましい。

事業活動収支計算書関係財務比率

- ① 人件費比率 人件費の経常収入に対する割合を示す重要な比率。この比率が特に高くなると経常支出全体を大きく膨張させ、経常収支の悪化を招きやすい。また、いったん上昇した人件費比率の低下を図ることは容易ではない。
- ② 教育研究経費比率 教育研究経費の経常収入に対する割合。高い値がよいが、経常収支の均衡を崩さない程度であればよい。
- ③ 医療経費比率 医療経費の経常収入に対する割合。高度な医療を提供することで、どうしても医療経費が高くなるが、効率を考えると当然低い値がよい。
- ④ 借入金等利息比率 借入金等利息の経常収入に対する割合。低い値がよい。
- ⑤ 基本金組入後収支比率 事業活動収入から基本金組入額を控除した額に対する事業活動支出が占める割合を示す比率である。一般的には、収支が均衡する100%前後が望ましいと考えられるが、臨時的な固定資産の取得等による基本金組入れが著しく大きい年度において一時的に急上昇することがあり、基本金の組入状況及びその内容を考慮して分析する必要がある。
- ⑥ 学生生徒等納付金比率 学生生徒等納付金の経常収入に占める割合である。安定的に推移することが望ましいが、一概に高い値がよいとか低い値がよいとかはいえない。ただ、高水準で納付金に依存するよりは相対的にこの比率が低いほうがよい場合もある。
- ⑦ 事業活動収支差額比率 事業活動収入に対する基本金組入前の当期収支差額が占める割合であり、この比率がプラスで大きくなるほど自己資金は充実されていることになり、経営に余裕があるものとみなすことができる。この比率がマイナスになる場合は、当年度の事業活動収入で事業活動支出を賅うことができないことを示し、基本金組入前で既に事業活動支出超過の状況にある。マイナスが大きくなるほど経営は窮迫し、いずれ資金繰りにも困難をきたすこととなる。

表6
キャッシュ・フローの推移

(単位:千円)

区分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1. 教育研究活動によるキャッシュ・フロー					
学生納付金収入	7,439,940	7,366,958	7,239,035	7,137,360	7,100,660
手数料収入	200,796	220,925	238,861	242,428	263,590
寄付金収入	735,863	657,193	620,611	562,082	580,306
補助金収入	6,325,982	5,888,346	3,495,618	2,420,750	3,273,307
受取利息・資産運用収入	148,672	206,017	266,609	332,603	452,537
事業収入	1,656,141	1,501,234	1,753,451	1,533,081	1,630,249
医療収入	44,265,500	45,672,758	48,472,080	49,221,726	47,549,257
雑収入	799,410	753,067	768,309	762,111	701,457
前受金収入	1,115,202	1,087,399	1,063,676	1,030,810	1,029,314
その他の収入	10,339,431	10,136,746	12,008,274	10,914,361	10,091,133
資金収入調整勘定(注1)	△ 11,390,447	△ 13,263,031	△ 12,091,364	△ 11,380,264	△ 11,473,074
小計 (1)	61,636,490	60,227,612	63,835,160	62,777,048	61,198,736
人件費支出	23,658,192	24,013,471	23,563,735	23,547,662	23,922,242
教育研究経費支出	26,490,608	28,318,898	29,810,365	30,408,669	30,396,325
教育研究経費支出	3,340,334	3,375,485	3,202,214	3,384,547	3,570,545
医療経費支出	23,150,275	24,943,413	26,608,151	27,024,122	26,825,780
管理経費支出	1,399,699	1,273,916	1,122,154	1,217,410	1,152,803
借入金等利息支出	31,188	27,878	24,281	38,883	264,281
その他の支出	6,298,253	7,334,144	8,532,869	7,765,977	7,486,115
資金支出調整勘定(注2)	△ 7,378,948	△ 8,387,921	△ 7,994,906	△ 7,294,963	△ 8,148,874
小計 (2)	50,498,992	52,580,386	55,058,498	55,683,638	55,072,892
教育研究活動による正味キャッシュ・フロー① {(1)-(2)}	11,137,498	7,647,226	8,776,662	7,093,410	6,125,844
2. 施設等整備活動によるキャッシュ・フロー					
資産売却収入(動産・不動産売却収入)	0	5,888	2,689	0	100
小計 (3)	0	5,888	2,689	0	100
施設関係支出	702,639	1,209,455	3,118,236	7,620,286	26,321,275
設備関係支出	1,449,746	1,927,811	1,264,341	829,168	1,305,402
小計 (4)	2,152,385	3,137,266	4,382,577	8,449,454	27,626,677
施設等整備活動によるキャッシュ・フロー② {(3)-(4)}	△ 2,152,385	△ 3,131,378	△ 4,379,888	△ 8,449,454	△ 27,626,577
事業正味キャッシュ・フロー-(①+②)	8,985,113	4,515,848	4,396,774	△ 1,356,044	△ 21,500,733
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー					
短期借入金純増加額	52,635	△ 34,465	△ 8,431	△ 124,409	1,691,593
長期借入金収入	0	0	0	10,000,000	20,720,000
長期借入金返済支出	670,490	661,670	635,210	1,911,363	2,263,248
小計 (5)	△ 617,855	△ 696,135	△ 643,641	7,964,228	20,148,345
有価証券売却収入	3,225,228	1,000,000	2,000,000	16,700,000	12,600,000
有価証券購入支出	10,800,000	4,583,250	5,809,807	22,410,843	13,087,820
小計 (6)	△ 7,574,772	△ 3,583,250	△ 3,809,807	△ 5,710,843	△ 487,820
その他の収入	85,551	80,456	99,073	82,908	88,412
その他の支出	354,734	367,341	312,593	308,005	310,073
小計 (7)	△ 269,183	△ 286,885	△ 213,520	△ 225,097	△ 221,661
引当資産から支払資金へ	9,704	1,001,000	0	0	0
支払資金から引当資産へ	0	500,000	0	0	0
小計 (8)	9,704	501,000	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー③ {(5)+(6)+(7)+(8)}	△ 8,452,106	△ 4,065,270	△ 4,666,968	2,028,288	19,438,864
繰越支払資金の増加額 A (①+②+③)	533,007	450,578	△ 270,194	672,244	△ 2,061,869
前年度繰越支払資金 B	13,300,825	13,833,832	14,284,410	14,014,216	14,686,460
次年度繰越支払資金 (A+B)	13,833,832	14,284,410	14,014,216	14,686,460	12,624,591

注1. 資金収入調整勘定: 前期末前受金、期末未収入金

注2. 資金支出調整勘定: 前期末前払金、期末未払金、期末長期未払金

財産目録

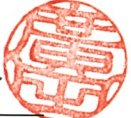
(単位 円)

科 目	年 度 末
一 資産額	
(一) 基本財産	86,336,058,845
1 土地	15,581,449,731
(1) 校地	155,328.06 m ² 15,566,949,731
(2) その他	78.08 m ² 14,500,000
2 建物	26,011,534,389
(1) 校舎	200,045.55 m ² 23,602,789,804
(2) その他	17,378.23 m ² 2,408,744,585
3 教育研究用機器備品	19,494 点 6,012,205,731
4 管理用機器備品	1,587 点 92,071,169
5 図書	83,178 冊 422,717,026
6 建設仮勘定	37,653,140,450
7 その他	562,940,349
(二) 運用財産	62,301,961,175
1 現金預金	12,624,592,205
(1) 現金	21,347,005
(2) 普通預金	12,226,059,379
(3) その他	377,185,821
2 有価証券	28,775,330,000
3 積立金	7,037,340,000
(1) 退職給与引当特定資産	1,000,000,000
① 有価証券	800,000,000
② 定期預金	200,000,000
(2) 教育施設設備等引当特定資産	200,000,000
① 定期預金	200,000,000
(3) 第2号基本金引当特定資産	3,510,890,000
① 普通預金	3,510,890,000
(4) 第3号基本金引当特定資産	2,326,450,000
① 有価証券	2,326,450,000
4 その他	13,864,698,970
合 計	148,638,020,020
二 負債額	
(一) 固定負債	44,229,747,430
1 長期借入金	34,487,796,000
2 退職給与引当金	7,711,205,914
3 長期未払金	206,668,716
4 長期前受金	1,824,076,800
(二) 流動負債	15,224,872,875
1 短期借入金	2,438,258,172
2 未払金	8,130,454,189
3 前受金	1,159,604,916
4 賞与引当金	1,271,197,653
5 その他	2,225,357,945
合 計	59,454,620,305


2025 年度監事監査報告書

2026 年 5 月 25 日

学校法人 兵庫医科大学
理事会 御中
評議員会 御中

常勤監事 廣田 誠一 

監 事 正木 義博 

監 事 後藤 研了 

私たち監事は 2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの令和 7 年度の学校法人兵庫医科大学の業務及び財産の状況並びに理事の職務の執行の状況に関し、監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

- (1) 理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。
- (2) 事業報告書に記載されている理事の職務の執行が法令及び寄付行為に適合することを確保するための体制、その他学校法人の業務の適正を確保するために必要なものとして私立学校法施行規則第 13 条各号に掲げる体制の整備に関する理事会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、理事及び職員等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
- (3) 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「会計監査人の職務の遂行に関する事項」（私立学校法施行規則第 37 条各号に掲げる事項）の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該会計年度に係る事業報告及び計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）並びに財産目録等について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

- ① 事業報告書は法令及び寄付行為に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令もしくは寄付行為に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する理事会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部システムに関する事業報告書の記載内容及び理事の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

会計監査人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

以上

学校法人 兵庫医科大学

2025 年度 事業報告書

発行日 : 2026 年 6 月 26 日

発 行 : 学校法人 兵庫医科大学

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1

TEL. 0798-45-6111(代)

編 集 : 学校法人兵庫医科大学 総務部総務課
